







25版 2024年8月

目次

e-Labe について
STD 形式と PRO 形式について
動作環境7
ご注意8
準備
e-Labe Designer をコンピュータにインストールする9
e-Labe Designer 画面の説明
e-Labe Print を FLEQV FX3-LX にインストールする15
e-Labe Print をアンインストールする19
ラベル発行
ラベル発行の流れ
e-Labe Designer を使って発行レイアウトを作成する23
e-Labe Print を使ってラベルを発行する34
アイテムを編集する
ラベルを発行する
プレビューを確認する
[補足]フォーマットファイルを USB ケーブル経由で FX3-LX にコピーする
データ連携処理
データ連携処理の流れ
サーバ(SATO App Storage)とデータ連携55
USB メモリとデータ連携する
フォーマット別マスター編集81
e-Labe Designer でマスター編集用フォーマットファイルを準備する81
フォーマット別マスター編集を利用するための設定をおこなう83
フォーマット別マスター編集をおこなう85
データ更新時フォーマット別マスター編集ファイルをクリアする
Print で編集したマスターデータを自動バックアップする134
Designer 編集前に Print のマスターデータを取り込んで同期をとる
発行履歴機能149
発行履歴項目149
発行履歴機能の基本設定152
発行履歴のオプション機能156
発行履歴データを取得する158

e-Labe Print の発行履歴表示機能を利用する	167
SATO App Storage の発行履歴管理機能を利用する	173
[付録]印字中止時の発行履歴データについて	
e-Labe Print のバックアップと復元	
バックアップ世代数を設定する	
USB ストレージにバックアップする	
USB ストレージから復元する	
e-Labe Printの設定メニュー	190
設定メニューを表示する	190
マスター編集	191
操作設定	192
システム管理	199
外部ストレージ連携管理	203
周辺機器接続設定	208
発行履歴設定	209
スペック表	210
トラブルシューティング	212

e-Labe について

e-Labe は、コンピュータでプリセットデータを作成するラベルデザイン作成ツール e-Labe Designer と、 FX3-LX に登録されたプリセットデータを呼び出すプリセット発行アプリケーション e-Labe Printの2つで 構成されています。



Windows コンピュータにインストールして使用します。コンピュータで印字イメージを確認できるので、ラベルデザインを簡単に作成、編集することができます。作成したラベルデータを SAS (SATO App Storage) などのサーバ経由や USB 経由で e-Labe Print に登録(プリセット)します。

STD 形式と PRO 形式について

e-Labe Designer(Ver.1.3.0.0 以上)では、2 つの形式から選択して作成可能です。

データの管理方法や利用可能な機能が異なります。

<主な機能の違い>

項目	PRO(プロ)形式	STD(スタンダード)形式
アイコン色	青 e-Labe	
プリセットデータ最大件数	9,999 件	5,000 件

発行端末でのマスタ編集	0	×
上位システムとのマスタ連携	0	×
「食品大目付そうけんくん」連携	0	×
発行時のレイアウト切り替え	0	×
Windows フォントの使用※	△ (固定文字のみ)	0

※どちらの形式も発行時入力項目には使用できません

・PRO 形式:呼出しテーブルプロジェクト

「呼出しテーブル」に商品マスタやレイアウトの組み合わせを登録します。

データサイズは比較的小さくなります。

	呼出しテー	ブル				
	呼出し名	レイアウトNo.	名称	原材料	内容量	賞味期限
0001	バタークッキー	[1]焼菓子レイアウ	焼菓子	小麦粉、砂糖、ショートニン	4枚	14
0002	アーモンドクッキ	[1]焼菓子レイアウ	焼菓子	小麦粉、砂糖、ローストアー	4枚	14
0003	チョコクッキー	[1]焼菓子レイアウ	焼菓子	小麦粉、砂糖、ショートニン	4枚	14
1001	生チョコレート	[2]生洋菓子レイア	洋生菓子	生クリーム、砂糖、全粉乳、:		50
1002	生チョコ抹茶	[2]生洋菓子レイア	洋生菓子	ココアバター、砂糖、生クリー		50
1003	生チョコ苺	[2]生洋菓子レイア	洋生菓子	ココアバター、砂糖、生クリー		50



・STD 形式:基本レイアウト/発行レイアウト用プロジェクト

アイテム数分の「発行レイアウト」を作成します。「基本レイアウト」を使用すれば、発行レイアウトを一括生成できます。PRO 形式と比べるとデータサイズは大きくなります

発行レイアウト





0001 和風幕の内弁当					
基準日付	20XX/02/23 11:28				
原材料名	ご飯、梅干、焼き鮭、肉団 子、卵焼き、…				
内容量		1	.個		
消費期限		X	X. 2.23		
保存方法	直射日光・高温多湿を避け 保存				
バーコード		0	00000000	0000	
14·2		+	+ - 7 -	ブ/姓/	
			^		~
	1		2	3	BS
	4	4 5 6 C			
	7 8 9 0				
1 枚			- 発	行	

登録されたデータを e-Labe Print で呼び出し、必要に応じて編集 して発行します。呼び出し方法は 5 種類の中からお選びください。

動作環境

e-Labe Designer は、以下の機器やソフトウェア環境で動作可能です。

項目	動作環境	備考
OS	Windows 11	64 ビット版の OS では、WOW64
	Windows 10	(Windows On Windows 64)の環境
		で動作します。
CPU	2GHz 以上(デュアルコア以上推奨)	
メモリ	1024MB 以上の RAM	
ハードディスク	1GB 以上の空きスペース	.NET Framework インストール済みの
		場合は 500MB
画面解像度	XGA(1024×768)以上	
	SXGA(1280×1024)以上推奨	
外部ストレージ	SATO App Storage	TLS1.2 対応
その他	Adobe Reader 10.1.4 以上	ヘルプファイル表示

ご注意

- 1. 本ソフトウェアの著作権は、株式会社サトーにあります。
- 2. 本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 3. 本ソフトウェアおよびマニュアルは、本製品のソフトウェア使用許諾のもとでのみ使用することができま す。
- 本ソフトウェアおよびマニュアルを使用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承 ください。
- 5. 本ソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがありま す。

サトー、SATO ロゴ、FLEQV、e-Labe およびそのロゴは、サトーホールディングス株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Android は Google Inc.の商標です。

その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

例やサンプルで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名とは一切関係 がありません。

Copyright© 2018-2024 株式会社サトー

8

準備

e-Labe Designer をコンピュータにインストールする

インストール時は、Administrator 権限でログインしてください。 e-Labe Designer の入手については、弊社ホームページのダウンロードサイトからダウンロードいただくか、 販売店、またはディーラーにお問い合わせください。 [弊社ホームページダウンロードサイト] https://www.sato.co.jp/support/printer/fx3-plus/#anc_04

1. e-Labe Designer の setup.exe をダブルクリックして、インストーラを起動します。



Microsoft .NET Framework 4.5 がインストールされていない場合、自動で Microsoft のインストー ラが起動します。画面指示に従ってインストールしてください。

2. [次へ]をクリックします。



3. 「使用許諾契約書」の内容を確認して[同意する]を選び、[次へ]をクリックします。

使用許諾契約書はソフトウェアの利用について重要な情報を記載しています。必ずご確認ください。

準備

📸 e-Labe Designer			-		×
ライセンス条項				e-L Des	-abe signer
ライセンス条項をお読みください。以下 らじ太へ」をクリックしてください。その1	「の条件に同意され 他の場合は[キャン	る場合は[同意 セル]をクリック	する]を: してくだる	クリックし きい。	,てか
ご使用の前に必ずお読みくださ 本製品は、お客様がこのソフ します。本契約書を十分にお読	い トウェア使用許諾語 みください。	書にご同意頂	いた場合	るにご捉	(供
使用許諾契約書 本製品を使用又はインストー	ルする前に、まずオ	、文をよくお読	みください	,) <u>,</u>	, _ ~
 同意しない(D)	○同意する(A)				
	キャンセル	< 戻る(B)		次へ()	0 >

4. インストールオプションの内容を確認して [次へ] をクリックします。

リモート操作によるサポートが不要の場合は「Team Viewer Quick Support をインストール

する」のチェックを外してください。

🕼 e-Labe Designer		_	[_ ×	<
インストールオプションの選	択			e-Lal Desigr	De Ner
インストールオブションを選択してくださ	ιı.,				
☑ Team Viewer Quick Supportをイ)	ソスト ールする				
	キャンセル	< 戻る(B)	;	欠へ(N)>	

5. インストール先のフォルダを確認して [次へ] をクリックします。

インストールフォルダを変更する場合は [参照] をクリックして、インストール先のフォルダを設定 します。

適用するユーザを限定する場合は、[このユーザーのみ]を選択します。

「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「許可」または「はい」を選択してください。

븅 e-Labe Designer	-		×
インストール フォルダーの選択		e-Lo Desi	abe gner Kal
インストーラーは次のフォルダーへ e-Labe Designer をインストールしま	す。		
このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別ル トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	のフォル	ダーにイン	シス
フォルダー(E):			
C.¥Program Files¥SATO¥e-Labe Designer¥	÷,	▶照(R)	
	ディス	スク領域([))
e-Labe Designer を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にイン	ストールし	」ます:	
●すべてのユーザー(E)			
○このユーザーのみ(M)			
キャンセル < 戻る(B)		次へ(N)	>

- 6. ウィザードに従って操作を進めます。インストール完了の画面が表示されたら [閉じる] をクリックし
 - て、インストールを終了してください。

🗒 e-Labe Designer	-	
インストールの確認		e-Labe Designer
e-Labe Designer をインストールする準備ができました。		
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。		
キャンセル く戻る	(B)	次へ(N) >

準備

岃 e-Labe Designer	-	
インストールが完了しました。		e-Labe Designer
e-Labe Designer は正しくインストールされました。		
終了するには、「閉じる」をクリックしてください。		
Windows Update で、NET Framework の重要な更新があるかどうかる	6確認し ⁻	てください。
キャンセル 〈戻る(в)	閉じる(0)

以上で e-Labe Designer のインストールは完了です。デスクトップにプログラムアイコンが表示されます。



e-Labe Designer 画面の説明

e-Labe Designer は、以下の画面構成になっています。 画面構成内容は、表示の ON/OFF、ウィンドウの移動で変更できます。



1. メニューバー

作業中のウィンドウで実行可能なメニューが表示されます。

2. ツールバー

よく使う機能をアイコン表示します。

3. 用紙回転ボタン

用紙を回転させます。

回転量は0度、90度、180度、270度から選べます。

4. オブジェクトバー

デザインウィンドウに貼りつけるオブジェクトを選択し、レイアウトを作成します。

5. デザインウィンドウ

ラベルのレイアウトデザインをおこなうウィンドウです。一度に 30 までウィンドウを重ねて表示で きます。

注意

同時に多数のウィンドウを開くと、コンピュータの動作が遅くなることがあります。

6. プロジェクトウィンドウ

プロジェクト内のファイル(レイアウトのオブジェクトを含む)を表示します。右クリックで各デー タの操作ができます。

7. データウィンドウ

選択中のオブジェクトの詳細を設定します。

8. 入力画面設計ウィンドウ

e-Labe Print の入力画面の設定を行います。[レイアウト] をクリックするとデザインウィンドウに 戻ります。

e-Labe Print を FLEQV FX3-LX にインストールする

e-Labe Print インストールファイル(eLabePrint_X.X.S.pk)の入手については、弊社ホームページのダウ ンロードサイトからダウンロードいただくか、販売店、またはディーラーにお問い合わせください。 [弊社ホームページダウンロードサイト]

https://www.sato.co.jp/support/printer/fx3-lx/#anc_04

1. e-Labe PrintのeLabePrint_X.X.S.pkをパソコンにダウンロードします。



- 2. コンピュータと FX3-LX を USB インタフェースで接続します。
- 3. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。

4. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



5. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB

を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「フ ァイルを転送する」を選択してください。

6. コンピュータのエクスプローラから「PC」を開き、「デバイスとドライブ」>「FX3-LX-MX6DL」を ダブルクリックします。

Windows 10 を例にしています。OS によってはメニュー名が異なる場合があります。

✓ デバイスとドライブ (3)			
FX3-LX-MX6	DL		
Windows (C:			
空き領域 44.6	GB/117 GB		
2000			•
			i== 🖿

注意

- 初めて FX3-LX をコンピュータと接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。このため、アイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ・ 「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックしても中身が表示されない場合は、手順 2 からやり直し てください。
- 7. 「内部共有ストレージ」>「Download」フォルダを選びます。



8. インストールファイルを「Download」フォルダにコピーします。



9. FX3-LX のホーム画面の「アップデータ」アイコンをタップします。



10. 「eLabePrint_X.X.X.spk」にチェックを付け、「インストール」をタップします。



11. インストール画面が表示されたら、「インストール」をタップします。



12. 完了画面が出たら、「完了」をタップし、FX3-LXの「⑩」ボタンを押してホーム画面に戻ります。



以上で、e-Labe Printのインストールは完了です。ホーム画面にプログラムアイコンが表示されます。



e-Labe Print をアンインストールする

e-Labe Print のアンインストール手順です。特定のバージョンをインストールするために、既存バージョンを 削除する必要がある場合などに実行します。通常は使用しません。

注意

アンインストールをおこなうと、発行履歴データや設定情報、一時的に記憶している連番などの値は クリアされます。

1. FX3-LXの「 🎯 」ボタンを押してホーム画面を開き、SatoHome アイコンをタップします。



2. 設定画面の「ユーザ認証」をタップします。

🖶 🏟 N 🕂 🧮 sos	* 🐨 🖹 🗏 14:57
← 設定画面	
ホーム画面 設定	
レイアウト変更 時計表示	
アイコンサイズ変更 中	
ホーム画面機能	
ファイルショートカット登録	
スキーマ起動ショートカット登録	
ユーザ認証	
アプリケーションフィルター	

3. ログイン画面でユーザ名とパスワードに「admin」を入力し、「ログイン」をタップします



4. 「閉じる」をタップします。



- 5. FX3-LXの「 🙆 」ボタンを押しホーム画面に戻ります。
- e-Labe Printのアイコンを数秒長押ししてから指を外し、表示されたメニューの「アンインストール」をタップします。



注意

上記メニューが表示されない場合、ユーザ認証ができていません。手順2からやりなおしてください。

7. 確認ダイアログが表示されるので「OK」をタップしアンインストールを実行します。



8. 画面下部に「アンインストールが完了しました。」と出てアイコンが消えれば完了です。



9. プリンタを再起動してください。

ラベル発行

ラベル発行の流れ

e-Labe Designer で作成したフォーマットファイルを FX3-LX に転送し、プリセットデータとして登録します。

FX3-LX の e-Labe Print で、登録されたプリセットデータを呼び出して発行します。



e-Labe Designer を使って発行レイアウトを作成する

プロジェクトを作成する

「プロジェクト」は、e-Labe Designer で作成したデータの管理単位です。

プロジェクトを新規作成する概要を説明します。詳しくは、Help をご覧ください。

1. デスクトップの e-Labe Designer アイコンをダブルクリックします。

e-Labe Designer が起動します。

2. プロジェクト選択画面で [新規作成] または [参照] を選択します。

ここでは例として [新規作成] を選びます。既存のプロジェクトがある場合は [参照] をクリックして、プロジェクトファイル(拡張子「.seproz」)ファイルを選択してください。



3. プロジェクト種類の選択画面で[STD 形式:基本レイアウト/発行レイアウト用プロジェクト]、[発行レ イアウト]を選択し、[次へ]をクリックします。



4. 用紙設定(用紙種類、センサタイプ、サイズ)をおこない、[OK]をクリックします。



ラベルのデザイン画面が開きます。

アイルド 編集(E) 表示(Y) 挿入(D) データ(D) Yール(T) ウインドウ(W) ヘルブ(H) ●<	🚟 プロジェクト - e-Lal	be Designer —		×
・ ・	: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) データ(D) ツール(T) ウインドウ(W) ヘルプ(H)		
▲ 22 アシリ ● 110 レイアウト・参谷レイアウト ● 20 30 40 80 ● 70520ト ▲ 文字列 ● 100 0 10 20 30 40 80 ● 20 70520ト ● 101 0 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	12 - 🖵 🔟 🖣	₩ ↓ / ^ % ₩ ₩ @ ×mm Y mm E =] ‡ ₩ ∏ ½ ↔ 풀	3	Ŧ
ようごそ! e-Labe Designerへ!!	 ・ 望沢 ・ 望沢 ・ マ字列 ・ の時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10 <	79k#:1,,	▼ ×
	ようこそ! e-Labe Desig	ner/\!!		

5. プロジェクトに名前を付けて保存します。



6.呼出しデータ(レイアウト)に名前を付けます。

プロジェクトウィンドウの「レイアウト」を選びます。新規作成時は「レイアウト1」などが設定さ

れています。

「呼出しデータ名」と「呼出し No.」を入力します。

呼出し No.は、e-Labe Print のナンバー発行画面でアイテムを呼び出すキーになります。

プロジェクト 早 🗙
🖓 プロジェクト 🗸
□-☆ プロジェクト ^
レイアウト数: 1 / 5000
<i>テ</i> -9 म ×
呼出しデータ名 レイアウト1 🛛 😨
呼出しNo. 1 🚖
検索
呼出し名
バーコード
カテコリ
発行履歴データ設定(H)

発行レイアウトを作成する

e-Labe Designer で作成するラベルデザインの概要を説明します。

文字を貼り付ける

オブジェクトバーの [文字列] を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



文字オブジェクトは、マウスでド ラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。

データ	д >
項目名 商品名 入力方法 ④ 固定 ① 発行時(データ) 〇 参照・結合	(N)
機能 □ テーブル変換	~
データ桁数 0 🜩 桁 データ 生チョコレート	
データセット 表示 フォント プリンタ、漢字(32×32)**(縦サイズ 1 ・ 倍 横サイズ 文字間隔 0.0 字 pt	詳細設定(U) Bpt相当″ ~ 1 ~ 倍
	▶ ● 単 細設定(P)…

ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「商品名」を入力します。
- ・ 入力方法は「固定」を選択します。
- ・ データに「生チョコレート」を入力します。

バーコードを貼り付ける

オブジェクトバーの[バーコード]を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



バーコードオブジェクトは、マウ スでドラッグして位置、サイズ (倍率)を変更できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。

データ		д >
項目名	バーコード	?
入力方法		
● 固定		
○ 発行時(デ	-タ)	
○ 参照·結合		
		詳細設定(N)
機能		
🗌 テーブル変換	奐	
		\sim
データ桁数	12 🌲 桁	
データー		
491234567890		
🔲 データセット		詳細設定(U)
表示		
バーコード種	JAN13	~
高さ	10.000 😫 r	nm
細バー幅	3 🖨 f	音
バー比率	~	任意比率(R)
🗹 解説文字体	拁 ☑ ᢗ/0	自動付加
スタートコード	\sim	
ストップコード	\sim	
□ 印字しない		詳細設定(P)

ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「バーコード」を入力します。
- ・ 入力方法は「固定」を選択します。
- ・ データに「491234567890」を入力します。
- ・ 高さを「10mm」に設定します。

「C/D 自動付加」にチェックを入れると、入力した 値の最終桁にチェックデジットが自動的に付加され ます。

税込価格を貼り付けます。

オブジェクトバーの[価格]を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



価格オブジェクトは、マウスでド ラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。

. т-9
項目名 価格 🔅
○ 固定
 ・● 発行時(データ)
○参照 ◇
詳細設定(N)
データ桁数 6 🚖 桁
データー
表示
フォント ブリンタ」価格文字(24×36) ~
縦サイズ 1 🗸 倍 横サイズ 1 🗸 倍
文字間隔 0.0 흦 pt
通貨書式 ¥1,234 ~
▲ 印字しない 詳細設定(P)
その他
□ 価格計算機能を使用 詳細設定(C)…

ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「価格」を入力します。
- ・ 入力方法は「発行時(データ)」を選択します。
- フォントは「プリンタ_価格文字(24x36)」を選 択します。

日時を貼り付けます。

オブジェクトバーの[日時]を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



日時オブジェクトは、マウスでド ラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。

7 -9 म	×
項目名 消費期限 🗇	
人力方法 ○ 加算なし	
● 加算あり	
□ 加算値参照	
○ データセット ○ フィールド	
\sim	
□ 発行時変更あり 詳細設定(<u>N</u>)	
データ桁数 20 💠 桁	
表示	
フォント プリンタ」漢字(32×32) "8pt相当" ~	
縦サイズ 1 🗸 倍 横サイズ 1 🗸 倍	
文字間隔 0.0 🚖 pt	
日付書式 2020年 4月 1日 🗸 🗸 🗸	
日付·時間区切り文字	
時間書式 8:00(時間-24時間制) ~	
□ 印字しない ユーザ定義(山)	
設定	
○ 第777274261 ○ 第7765表示する	
 参照を許可する 	

ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「消費期限」を入力します。
- 入力方法は「加算あり」を選択し、「1日」を設 定します。
- フォントは「プリンタ_漢字(32x32)"8pt 相当"」
 を選択します。
- ・ 日付書式は「2020年4月1日」を選択します。

固定グラフィックを貼り付けます。

オブジェクトバーの [固定グラフィック] を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付け ます。



固定グラフィックオブジェクト は、マウスでドラッグして位置を 移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。

データ		џ	×		
項目名	固定グラフィック	7			
「グラフィック指定」					
◉ 埋め込みグ	ラフィック 選択(G)				
○ 呼出しグラナ	7ィック(固定)				
○ 呼出しグラ:	フィック(データセット)				
		\sim			
サイズ					
 領域指定 					
◉ 倍率指定					
高さ 10.0	00 🌲 mm 🛛 100.0 🜲 %				
幅 10.0	00 ≑ mm 100.0 🚖 %				
🗌 縦横比を固	定する				
表示					
EEE					
🔛 🗆 印字	=しない				

ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「固定グラフィック」を入力します。
- グラフィックス指定方法は「埋め込みグラフィック」を選択し、「選択」から貼り付けるグラフィックを選択します。
- 必要に応じて、サイズで「倍率指定」を設定します。

プロジェクトを保存します。

作成したプロジェクトをすぐに転送する場合は、必ず「ファイル」>「プロジェクト 上書き保存」で 保存してください。

フォーマットファイルを FX3-LX に出力する

e-Labe Designer で作成したラベルの発行レイアウトを、FX3-LX の内部共有ストレージに呼出しデータとし て出力します。SATO App Storage や FTP サーバなどと同期する方法や、USB メモリにセットしたデータと 同期する方法についての詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

▶ データ連携処理

注意

FX3-LX に USB ケーブル経由でフォーマットファイルを直接出力する機能は e-Labe Designer <u>Ver.1.14.0.0 以上</u>でご利用いただけます。Ver.1.13.0.0 以下の場合は出力先を「デバイスとドライ ブ」に指定し所定の場所に出力したフォーマットファイルを、FX3-LX にコピーしてご利用ください。 FX3-LX へのコピー方法は本マニュアルの以下を参照してください。

▶ [補足]フォーマットファイルを USB ケーブル経由で FX3-LX にコピーする

1. コンピュータと FX3-LX を USB インタフェースで接続します。

2. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。



3. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



4. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB

を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「フ ァイルを転送する」を選択してください。

5. ツールバーの「データ出力」ボタンをクリックします。

メニューバーの「ファイル」>「データ出力」でも、同様の操作ができます。



「出力対象選択」画面が表示されます。

6. 出力先から[FX3-LX-●●●●(MTP デバイス)]を選択し、出力するデータにチェックを入れて、 [OK] をクリックします。



- 「全選択」をクリックすると、プロジェク
 ト内の全データを出力します。
- 「差分のみ」をチェックすると、変更され たデータのみ出力するため、高速で出力が できます。

注意

・ 複数の MTP デバイスが接続されていると[OK]時以下の警告が表示されます。データ出力する MTP デバイスのみ接続し、再度データ出力をおこなってください。

e-Labe De	esigner	\times
	複数のMTPデバイスが検出されました。 データ出力するMTPデバイスのみ接続してください。	
	ОК	

- 基本レイアウト、プリセットデータ、グラフィックデータ、外字データは、データ出力選択の対象になりません。
- 基本レイアウトとプリセットデータ、ならびにグラフィックデータと外字データは、発行レイ アウトのオブジェクトとして出力データに含まれます。

7.	必要に応じてファイル名を変更し[OK]をクリックします。
----	------------------------------

MTPデバイス出力	先確認	?	\times
パス: 詳細設定 ファイル名:	MTPデバイス/SATO/FormatFiles サンプルデータsefmtz		
	ОК	キャン	セル

注意

パスに表示されているフォルダが存在しない場合は自動で生成します。

8. データ出力が完了するとメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



出力時エラーとなる場合は以下を参照してください。

・「選択した MTP デバイスへの出力に失敗しました。MTP デバイスがアクセス可能な状態かご確認ください。」



→MTP デバイスへの書き込みが制限されている可能性があります。ご利用環境のアクセス権限などをご確認

ください。

・「選択した MTP デバイスを認識できません。MTP デバイスが接続されているか確認してください。」



→MTP デバイスに接続できません。ケーブルの抜けや手順 2~4 の設定になっているか再度ご確認ください。

e-Labe Print を使ってラベルを発行する

フォーマットファイルを読み込む

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2. 📃 (メニュー) をタップします。



3. 📃 (フォーマットファイル選択)をタップします。



4. コピーしたフォーマットファイル名をタップします。

フォーマットファイルの選択	
<std形式></std形式>	
サンプルデータ	
	キャンセル

選択したフォーマットファイルが、e-Labe Print に読み込まれます。

(フォーマットファイル選択)フィールドに、読み込んだフォーマットファイル名が表示されていることを確認してください。

アイテムを選ぶ

さまざまな検索方法で、発行したいアイテムをすばやく呼び出せます。

呼び出し方法はナンバー発行、グループ発行、キーワード発行、バーコード発行、履歴発行の5種類があります。

ナンバー発行

e-Labe Designer で設定した呼出し No.を入力して、アイテムを呼び出します。

- 1. (メニュー)をタップします。



ナンバー発行画面が表示されます。

3. ソフトウェアキーボードを使って、呼出し No.を入力します。



入力した呼出し No.のアイテムが表示されます。

[<] [>] をタップして、アイテムを番号順に表示することもできます。
4. 発行したいアイテムが表示されたら [確定] をタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

三 ナンバー発行				
	2	204		>
	洋風幕	の内弁当		
品名		洋風幕の	内弁当	
原材料名		ご飯、梅= 団子、卵炊	F、焼き魚 _{尭き、…}	佳、肉
内容量		1個		
消費期限		XX. 2.27		
保存方法 直射日光・高温多湿を避 け保存				显を避
バーコード	コード 00000000000			
	1	2	3	BS
	4 5 6 C			
	7 8 9 0			
	確定			

グループ発行

グループ単位でアイテムを絞り込み、呼び出します。グループは3階層まで設定できます。 あらかじめ e-Labe Designer でグループ設定をおこなう必要があります。

- 1. (メニュー)をタップします。
- 2. メニューから [▶ グループ発行]を選びます。



グループ発行画面が表示されます。

設定メニューの [グループの絞り込み方法]の設定によって、表示される画面が異なります。

3. グループからアイテムを絞り込みます。

ドロップダウン選択の場合

ドロップダウンリストからグループを選びます。グループに含まれるアイテムが表示されます。 [(すべて)] をタップすると、下の階層のグループのドロップダウンリストが表示されます。この操 作を繰り返してアイテムを絞り込みます。

三 グループ発行		
(すべて)	■ グループ発行	
青果	青果	三 グループ発行
	(すべて)	青果
0003 キウイフルーツ	野菜	果物 ~
0004 きんかん	果物	(すべて)
0005 ほうれん草	0004 きんかん	0001 みかん
0006 バナナ	0005 ほうれん草	0004 きんかん
0007 大根	0007 大根	0008 マンゴー
0008 マンゴー	0008 マンゴー	
0009 ニンジン	0009 ニンジン	
0010 レンコン	0010 レンコン	
<u>∧</u> 1/1		
	∧ 1/1	
		∧ 1/1 ∨

ここでは例として [青果] を選びます。さらに [(すべて)] > [果物] をタップすると、[果物] グル ープに含まれるアイテムが表示されます。

順次選択の場合

大分類>中分類>小分類の順にグループ名をタップして絞り込みます。



ここでは例として大分類 [青果] を選びます。さらに中分類 [果物] > 小分類 [その他] をタップすると、[その他] グループに含まれるアイテムが表示されます。

大分類、中分類の画面で [(すべて)] をタップすると、大分類または中分類に含まれるアイテムすべてが表示されます。

4. 発行したいアイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

キーワード発行

商品名などのキーワードで検索して、アイテムを呼び出します。 部分一致で検索するため、入力した文字が呼出しデータ名のどこかに含まれていれば検索対象となります。 後のアイテムがヒットした場合は、候補が一覧表示されます。

- 1. (メニュー)をタップします。
- 2. メニューから [『ニキーワード発行] を選びます。



キーワード発行画面が表示されます。

= +	ーワード	·発行		
検索する	文字列を入	力してくだ	さい。	
	う 	< + thu	†	
<u>م</u>	い の え お	さ パ い こ め	د ن ب ج	423
4	ちたて と	になね	ではへ	Þ
?123 😳	む ま め みも	(や) よ	5 n 5 n	<u> </u>
ある	•	ĕわ~-	?!	0
	\bigtriangledown	0		

3. ソフトウェアキーボードを使って検索ワードを入力します。

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは、FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。

= キーワード発行	三 キーワード発行
焼肉	焼肉弁当デラ
0102 焼肉弁当	0103 焼肉弁当デラックス
0103 焼肉弁当デラックス	
、「が」。「屋」屋さん「!」店「 ? 「 >	が、、、から、!、かからの、
きん から 定食 ください か 用	ください からは かな 下さい からも
≪¬ いあぇ きかけ しさせ ≪	∢ ುರ್ರೆಸ ಾ∆್ ರ ರೆ. ಆ ≪ ಕರ್
	● ちたて になね ひはへ ▶
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$?123 ② みまめ (や) りちれ ー
あ₀ @ をわっ?! <	あa @ & b - □ ? ! 🖌

検索結果は入力内容に応じて絞り込まれます。

4. 発行したいアイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

バーコード発行

呼出し No.に対応したバーコードをバーコードスキャナで読み取って呼び出します。 現在対応しているバーコードスキャナは、DENSO「SH1」です。 あらかじめ e-Labe Designer で呼出し No.とバーコードの紐づけをおこなっておく必要があります。

- 1. (メニュー)をタップします。



バーコード発行画面が表示されます。



3. バーコードを読み取ります。

読み取ったアイテムの発行画面が表示されます。

バーコードスキャナが使用できない場合

- 1. 手順2で[テンキーで入力]をタップして、入力画面を表示させます。
- 2. バーコードの番号を入力します。

検索結果は入力内容に応じて絞り込まれます。



3. アイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

注意

バーコードの検索は「前方一致」で実行します。

検索データに「123」と入力した場合はデータの先頭が「123」から始まるバーコード(「1234」や 「123456」など)も検索結果に表示されます。

履歴発行

直近で発行したアイテムの一覧から呼び出します。よく使うアイテムを探すのに便利です。

- 1. (メニュー)をタップします。
- 2. メニューから [2]履歴発行]を選びます。



履歴発行画面が表示されます。

── 履歴発行
0201 ツナマヨおにぎり
0208 焼鮭弁当
0210 チキンステーキ
0209 ハンバーグ
0207 和風幕の内弁当デラックス
0206 和風幕の内弁当
0205 洋風幕の内弁当デラックス
0204 洋風幕の内弁当
0200 鮭おにぎり
0104 焼きとり丼
0102 焼肉弁当
∧ 1/2 ∨

3. 発行したいアイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

アイテムを編集する

5 020	4 洋風幕	幕の内弁論	Ц	
基準日付	2	0 XX/02/2 0	5 10:16	
品名	2	羊風幕の内	弁当	
原材料名		ご飯、梅干 F、卵焼き	、焼き魚 、…	ŧ、肉団
内容量		L個		
消費期限	x	X. 2.26		
保存方法	通貨	重射日光・ R存	高温多湿	記を避け
	6	0000000	0000	J
□ プレビュー		^		~
	1	2	3	BS
	4	5	6	С
	7	8	9	0
1.		- 発	行	

発行画面で、印字情報を必要に応じて修正できます。

1. 発行画面で、編集したい項目のフィールドをタップします。

入力画面が表示されます。

2. ソフトウェアキーボードを使って入力します。

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは、FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。 ここでは例として原材料名を変更します。



3. 編集が完了したら [🛃 確定] をタップします。

発行画面に戻ります。e-Labe Print 上で変更した項目は緑色で表示されます。

5 0204 洋風幕の内弁当					
基準日付 20XX/02/26 10:17					
原材料名		ご飯、梅干 子、卵焼き	、たらこ 、…	、肉団	
内容量	-	L 1回			
消費期限	X	X. 2.26			
保存方法 信射日光・高温多湿を避け 保存					
バーコード		00000000	0000		
#+~ #+~-フーブ(姓)					
□ プレビュー		^		~	
	1	2	3	BS	
	4	5	6	С	
	7	8	9	0	
1 枚		- 発	行		

注意

- ・ 設定メニューで [アイテム選択時に即時発行] をオンにしている場合は、アイテムの編集はでき ません。
- 編集が必要な項目は、発行画面ではピンク色で表示されます。これらの項目を編集するまで、発行をおこなうことはできません。

5 0002 明	太子高菜パスタ
基準日付	20XX/02/22 10:58
明太子高菜パスタ 本体価格	明太子高茲パスタ

ラベルを発行する



「フォーマットを発行しています…」のメッセージが表示され、ラベルが発行されます。

注意

FX3-LX がオフラインの場合は、オンラインに切り替わるまで発行されません。

Sato コントロールバーで [オンライン] をタップして、オンライン状態に切替えます。



Sato コントロールバーが表示されていない場合は、ホーム画面の[SatoControl]をタップします。 詳しくは、FX3-LXの取扱説明書をご覧ください。



「プレビューを生成しています…」のメッセージが表示され、プレビューが原寸大で表示されます。

プレビューを大きな画面で表示したい場合

1. 発行枚数フィールドをタップするごとに、テンキーの表示、非表示が切り替わります。



プレビューの向きを変更したい場合

プレビュー画面左上の
 (表示回転)を1回タップし、90度回転させます。
 タップする度に半時計回りに90度ずつ回転します。



プレビューの大きさを変更したい場合

1. プレビュー表示を1回タップするごとに表示の大きさが切り替わります。

5 0204 洋風幕の内弁当	
基準日付 20××/02/25 15:14	0204 洋風幕の内弁当
	基準日付 20××/02/25 15:15 0204 洋風幕の内弁当
•	基準日付 20xx/02/25 15:15
洋風幕の内弁当 原ご飯、時干、焼きた、014(カ長・ワインナー オ、倉地、代きせ / 単株1(17)×(加号・のド損登組 グリシン オ、倉地、代きせ / 単株1(17)×(加号・のド損登組 グリシン オ、倉地・代主、一、日本 マントラン・ステン マントラン・ステン ロシントン・ステン マントン・ステン ロシントン マントン・ステン マントン マン マン マン マン マン マン マン	洋風幕の内弁当 原ご飯、梅干、焼き菇、肉茴子、卵焼き、いんげん肉巻、ウインナ・ 材、煮物、付合せ / 聊味料 (75/蔥等)、の用調整剤、グリン 料、酸味料、香料、着色料 (カラメル、カロチノイド)、免色剤 (電 硫酸Na)、(一部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:1個 消費期限:xx.2,2,26 保存方法:直射日光・高温多湿を遊(け保存 製造者:サトーフーズ(株) 東京都目黒区下目黒17目1番1号 TEL0120-090310 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:10 消費期限:xx.2,2,26 保存方法:直射日光・高温多湿を遊(け保存 製造者:サトーフーズ(株) 東京都目黒区下目黒17目1番1号 TEL0120-090310 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:10 消費期限:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:10 消費期限:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:10 消費期限:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:110 消費期限:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:10 消費期日:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:10 消費期日:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大豆、鶏を含む) 内容量:110 消費期日:xx.2,2,26 (中部に小麦、乳、なび、さば、大口,鶏をおむ) (中部に小麦、乳、なび、さば、大口,鶏をおむ) (日本小ギー 700kcal) 炭水化物 105 たんぱく質 208 (推定値) (推定値) (推定値) (推定値) (推定値) (推定値) (
【実寸大】	たんぱく質 20g 食塩相当量 4.31g 脂質 20g 1

【幅いっぱい】

【高さいっぱい】

注意

- プレビューボタンが表示されない場合は、以下をご確認ください。
- ・設定メニューの [プレビュー機能を使用] の設定がオフになっている
 →オンに変更してください
- ・e-Labe Print のバージョンが、Ver.1.1.0 以下である
 - →Ver.1.2.0 以上をご利用ください

[補足]フォーマットファイルを USB ケーブル経由で FX3-LX にコピーする

USB ケーブルを使ったフォーマットファイルのコピー方法を説明します。e-Labe Designer Ver.1.14.0.0 以 上をご利用の場合は、データ出力時に直接 FX3-LX にフォーマットを書き込むことができるため、本マニュア ルの以下を参照してください。

- フォーマットファイルを FX3-LX に出力する
- 1. コンピュータと FX3-LX を USB インタフェースで接続します。
- 2. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。



3. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



4. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「フ ァイルを転送する」を選択してください。

5. コンピュータのエクスプローラから「PC」を開き、「デバイスとドライブ」>「FX3-LX-MX6DL」を ダブルクリックします。

Windows 10 を例にしています。OS によってはメニュー名が異なる場合があります。

<i>〜 </i>	とドライブ (3) ――	
	FX3-LX-MX6DL	
	Windows (C:)	
	空き領域 44.6 GB/117 G	

注意

- 初めて FX3-LX をコンピュータと接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。このため、アイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ・ 「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックしても中身が表示されない場合は、手順 2 からやり直し てください。
- 6. 「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダを選びます。



注意

「SATO」>「FormatFiles」フォルダがない場合は、手動で作成してください。

7. フォーマットファイルを「FormatFiles」フォルダにコピーします。



以上で、FX3-LX への登録(プリセット)は完了です。

注意

- ・ 必ずフォーマットファイルをコピーしてください。プロジェクトファイルは e-Labe Print で読み込むこ とができません。
- ・ フォーマットファイルは「F」マークのアイコンで拡張子「.sefmtz」、「.pefmtz」のファイルです。

データ連携処理

データ連携処理の流れ

e-Labe Designer で作成したフォーマットファイルや e-Labe Printの設定情報ファイルをサーバにアップロードし、FX3-LX にダウンロードします。アップロード処理が有効な場合は、FX3-LX 内に蓄積された発行履歴ファイルやログファイルをサーバにアップロードします。

サーバだけでなく、USB メモリに保存したフォーマットファイルを連携することも可能です。



※PRO 形式だけでなく、STD 形式のファイルもデータ連携可能です

サーバ (SATO App Storage) とデータ連携

e-Labe Designer を使って PRO 形式のフォーマットファイルを作成し、サーバにデータ

をアップロードする

プロジェクトを作成する

PRO 形式のプロジェクトを新規作成する概要を説明します。詳しくは、Help をご覧ください。

1. デスクトップの e-Labe Designer アイコンをダブルクリックします。

e-Labe Designer が起動します。

2. プロジェクト選択画面で [新規作成] または [参照] を選択します。

ここでは例として [新規作成] を選びます。既存のプロジェクトがある場合は [参照] をクリックし て、プロジェクトファイル(拡張子「.peproz」)ファイルを選択してください。



3. プロジェクト種類の選択画面で[PRO 形式:呼出しテーブル用プロジェクト]を選択し、[次へ]をクリッ

クします。



4. 用紙設定(用紙種類、センサタイプ、サイズ)をおこない、[OK]をクリックします。



ラベルのデザイン画面が開きます。

7/140 第40 7/140 9/140 7/140 10 10 10 10 10 10 11 10 10 10 10 10 10 12 10 10 10 10 10 10 10 12 10 10 10 10 10 10 10 10 13 10 <t< th=""><th>C プロジェクト - e-Labe Designer</th><th>-</th></t<>	C プロジェクト - e-Labe Designer	-
************************************	ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) データ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
▼ ## ■ <td> * - ⊒ ™ ™ + ^ へ ~ % ™ ™ ♥ X mm Y mm = = ‡ H</td> <td># □ + </td>	* - ⊒ ™ ™ + ^ へ ~ % ™ ™ ♥ X mm Y mm = = ‡ H	# □ +
	アゲ(K) 第集(D) 表入(D) テク(D) ア・K(T) アンドク(N) A) A)	7-64/920 Image: Control of the second se

5. プロジェクトに名前を付けて保存します。



指定した場所に拡張子「.peproz」のファイルが保存されます。

サンプルデータ.peproz SATO e-Labe Designer Project Arc... 49.7 KB

6. レイアウトに名前を付けます。

プロジェクトウィンドウの「レイアウト」を選びます。新規作成時は「レイアウト1」などが設定されています。

「レイアウト名」と「レイアウト No.」を入力します。

レイアウト No.は、呼出しテーブルでアイテム登録時、レイアウトを紐づけるキーになります。

フロジェクト	ųΧ
🐏 プロジェクト 🗸	
 □ 30 ±20ト ● 10 単出しテーブル ● 10 レイアウト ● 10 レイアウト1 ● 10 レイアウト1 ● 10 テーブル 	^
11 漢字テーブル1	
	▶ 小数:1/99
∃ - 9	ξX
レイアウト名 レイアウト1	3
レイアウトNo. 1 🜻	
レイアウト設定(S)	
発行履歴データ設定()	Ð

7. レイアウトを作成します。

オブジェクトを配置してレイアウトを作成します。

レイアウトの細かな作成方法は[ラベル発行]>[e-Labe Designer を使って発行レイアウトを作成する]>[発行レイアウトを作成する]の章を参照して作成してください。



データセット項目の設定をおこなう

呼出しテーブルでデータ登録をするオブジェクトを[データセット]に設定する概要を説明します。

- 1. 作成したレイアウトを開き、文字列オブジェクト「商品名」をクリックします。
- 2. データウィンドウの[データセット]チェックボックスにチェックを入れます。

細設定(<u>U</u>)

- 3. [呼び出しテーブルから設定する最大桁数を [データ桁数] にセットしてください。] ダイアログが表示 されるので [OK] をクリックします。
- 4. [データセット]の下のコンボボックスで[(新規)...]を選択します。

データ エ メ
項目名 商品名 🖓
入力方法
● 固定
○ 発行時(データ)
○ 参照·結合
詳細設定(<u>N</u>)
機能
□ テーブル変換
~
データ桁数 20 🌲 桁
データー
生チョコレート
☑ データセット 詳 職定(U)
~
(新規)
フォント プリンタ」漢字(32×32) "8pt相当" ~
縦サイズ 1 🗸 倍 横サイズ 1 🗸 倍
文字間隔 0.0 🚽 pt
▲ 印字しない 詳細設定(P)

5. [呼出しテーブル定義に項目名を追加しますか?] ダイアログが表示されるので[はい]をクリックしま す。



e-Labe Designer	×
? 呼出しテーブル定義に項目を追加しますか?	
(はい(Y) いいえ(N)	
データー	

生チョコレート 	
🗹 データセット	詳細設定(U)
商品名	~

[商品名]がデータセット項目としてセットされます。

6. [データ桁数]を 20 桁に変更します。

データ桁数 🛛 🤤 桁	
データー	
TTTTTTT	
	■¥ショョシーテク(1)
✓ J = yUyト	
1900-20	~

7. バーコードオブジェクト「バーコード」をクリックし、同様に[データセット]項目の設定をおこないま

す。

※バーコードオブジェクトは桁数の変更は不要です

呼出しテーブルを登録して SATO App Storage にフォーマットファイルをアップロードする

呼出しテーブルを登録し SATO App Storage にデータをアップロードする概要を説明します。

1. 呼出しテーブルを右クリックし、[定義]をクリックします。



呼出しテーブルデータ定義画面が開きます。

2. [商品名]の桁数を 20 桁に変更して、[閉じる]をクリックします。

呼出	レテー	ブル定義						? X	
No		項目名	桁数	桁数チェック	文字種チェック	属性	^	追加(<u>A</u>)	í.
•	1	商品名	20	チェックなし	チェックなし			置(服金(下))	
	2	バーコード	12	全桁必須入力	数字のみ			HUMA <u>D</u> /	1
	3							上へ(山)	L
	4							下への約	
	5							1.00	
	6							インポート	
	7							エクスポート	1
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16						~	閉じる(<u>C</u>)	1

変更確認ダイアログが表示されますので[はい]をクリックします。

3. 呼出しテーブルをダブルクリックします。



呼出しテーブル登録画面が開きます。

4. [呼出し No.][呼出し名][レイアウト指定][商品名][バーコード]に値をセットし、[閉じる]をクリック します。

[レイアウト指定]には、レイアウト作成時に指定した[レイアウト No.]を入力します。

呼出し	9年山にテーブルデータ登録 - ロ X							×		
い	レイアウト (すべて) ~ (すべて) ~								?	
No		呼出しNo.	呼出し名	検索用呼出し名	レイアウト指定	商品名	バーコード	イン	ポート(I)	
	1	1	生チョコ ミルク	ナマチョコレート	[1] チョコレート用	生チョコレートミルク	491111111111	エクス	ポート(E).	
	2	2	生チョコ ビター	ナマチョコレート	[1] チョコレート用	生チョコレートビター	492222222222			
▶ ₩	3							デー	タチェック(<u>C</u>	·
								簡易	וּעדייר()	2
								プレビュ	レー・テスト(D
								ダン	プ出力(凹)	
	データ出力(の)									
<							>			
編集	R.									
-	刃り取		 貼り付(ナ(P) 	肖耶余(D) 🏄	(索/ 地(S)					
	Latrice/ 開じる(2)									
-	一覧 ポージ データ数: 2 / 5000									

変更確認ダイアログが表示されますので[はい]をクリックします。呼出しテーブル登録画面が閉じます。

5. ツールバーの [データ出力] ボタンをクリックします。

ファイルメニューから[データ出力]を選択しても、同様の操作ができます。

「出力対象選択」画面が表示されます。

6. 出力先を[SATO App Storage]に指定して[OK]をクリックします。



SATO App Storage 接続先確認画面が表示されます。

/. [編集]をクリックしま

SATO App Storage	接続先確認	?	\times		
プロファイル名:	SATO App Storage(システム)				
アドレス:	nttps://sato-app-storage.com				
会社ID:					
ログインID:					
詳細設定					
グループ:	/				
フォルダー:					
ファイル名:	サンプルデータpefmtz				
プッシュ配信設定					
🗌 プッシュ配信を行	τ ⁵				
 ● 強制更新 	○ 任意更新				
□ 配信予約	2022年11月21日 🔍 🗸 00:00 📫				
	編集 OK	キャンヤ	211		

SATO App Storage 接続設定画面が表示されます。

[SATO App Storage] タブ画面で [アドレス] [会社 ID] [ログイン ID] [パスワード] を入力し
 [OK] をクリックします。

アドレス、会社 ID などは販売店から払い出されたものを入力ください。

[接続テスト]をクリックすると、入力した情報で接続確認がおこなえます。

SATO App Storage接線	記録定 ? ×	
SATO App Storage	プロキシ	
プロファイル名:	SATO App Storage(システム)	
アドレス:	https://sato-app-storage.com	
会社ID:		
ログインID:		
パスワード: 「詳細設定		
グループ:	/ グループ取得	
フォルダー:		
- プッシュ配信設定 ブッシュ配信を行 ・ 登制更新 配信予約(3 時刻) 00:00 曜日 日	ið ○ 任意更新 [#] フォルト値) ● ■ 月 □ 火 □ 水 □ 木 □ 金 □ 土	
接続テスト(工)	OK キャンセル	

SATO App Storage 接続先確認画面に戻ります。

注意

- ・ プッシュ配信機能をご利用いただく場合は販売店までご相談ください。
- フォルダは任意項目です。SATO App Storage にアップロードするファイルを、グループ別 に分けたい場合に利用します。e-Labe Print で受信時も、そのフォルダを指定することでフ ォルダ以下のファイルをダウンロード可能です。



9. [OK]をクリックし、SATO App Storage にフォーマットファイルをアップロードします。

データ連携処理

SATO App Storage	接続先確認	?	×
プロファイル名:	SATO App Storage(システム)		
アドレス:	https://sato-app-storage.com		
会社ID	TEST		
ログインID:	TEST		
詳細設定			
グループ:	/		
フォルダー:			
ファイル名:	サンプルデータpefmtz		
フッシュ配信設定	(ŦŎ		
 ④ 強制更新 	○ 任意更新		
配信予約	2022年12月6日 📃 🗸 00:00 😭		
	編集 OK	キャンセ	216

アップロードが完了すると、データ出力の完了メッセージが表示されます。



Tips

e-Labe Designer Ver.1.13.0.0 より「プロファイル機能」を利用できます。よく使う出力先の情報 をあらかじめプロファイルに登録しておくと、データ出力時の出力先を簡単に選ぶことができます。 詳細は e-Labe Designer のヘルプで「プロファイル設定タブ」の説明をご参照ください。

e-Labe Print でデータ連携をおこなう

e-Labe Print でサーバとデータを連携する概要を説明します。

データ連携の設定をおこなう

e-Labe Printの設定メニューでデータ連携用の設定について概要を説明します。

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。



3. [22] ション (23) (25

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。

5	設定				
マスター編集					
操作設定					
システム管理					
外部ストレージ連携管理					
周辺機器接続設定					

5. [ストレージ選択] をタップして [SAS (SATO App Storage)] を選択します。



SATO App Storage の接続情報は SatoSettings に登録します。 (設定方法は FLEQV FX3-LX 取扱説明書をご参照ください)

「データ連携をおこなう」のページに進んでください。

e-Labe Printのバージョンが古い(Ver.1.7.0以前)、 またはプリンタのファームウェアバージョンが古い等の理由により e-Labe Print 側に SATO App Storage 接続情報の登録が 必要な場合は次ページの設定手順を参照してください。



SatoSettingsの設定画面

【SATO App Storage の接続情報を登録する(e-Labe Print)】

6. [接続設定]をタップします。

SAS 接続設定画面が開きます。e-Labe Print のバージョンにより「本体設定値を参照」がオンになっている場合はオフにします。

[Ver.1.7 以降]

[Ver.1.6.	以前]
-----------	-----

➡ 設定 > > SAS接続設定	
アドレス	本体設定値を参照
会社ID	アドレス
ログインID	会社ID
パスワード	ログインID
詳細設定	パスワード
- フォルダー名	詳細設定
	- フォルダー名
接続テスト	- SAS同期トリガー互換 🌑
	接続テスト

7. [アドレス]をタップし、アドレスに間違いが無いか確認します。

注意

- ・ SATO App Storage のアドレスは、あらかじめ入力されています。販売元から払い出されたアドレ スと違いが無いか確認してください。
- 8. [会社 ID]をタップし、必要事項を入力します。[ログイン ID][パスワード]も同様に入力します。

販売元から払い出された情報を元に入力してください。

会社ID	
TEST	
	キャンセル OK

9. [接続テスト]をタップします。

接続テストが失敗した場合は入力したアドレスや ID に間違いが無いか確認を行ってください。

注意

ネットワークの環境によってはプロキシの設定が必要となります。プロキシのアドレス、ポートなどの設定は、設定メニューの[システム管理]> [プロキシ設定] からおこなってください。



- データ連携をおこなう
- 1. 📃 (メニュー) をタップします。



注意

- 設定画面では = (メニュー)は表示されません。
 たタップして前の画面に戻ってください。
- 2. [「 データ更新]をタップします。



データ更新画面が開きます。

3. [OK]をタップして、データ連携処理を実行します。



4. データ更新のプログレスが表示され、更新が実行されます。

e-Labe		e-Labe
データを更新しています アップロード対象ファイルの一覧を取得します。 ダウンロードを開始します。 サンプルデータ.pefmtzをダウンロードします。 サンプルデータ.pefmtzをテンポラリから移動します。	⇒	更新確認が完了しました 更新チェック日時 2018/XX/XX10:53:32 TESTデータ.pefmtzのテンボラリから移動します。 ダウンロードは終了しました。 アップロードを開始します。 アップロードは終了しました。 同期完了をファイルで通知しています。 OK
		<u> </u>

フォーマットファイルが e-Labe Print に取り込まれます。

フォーマットファイルが複数ある場合は、「フォーマットファイルの選択」ダイアログが表示されま す。取り込むフォーマットファイルを選択してください。

注意

・ STD 形式と PRO 形式のフォーマットファイルが混在している場合、「フォーマットファイルの選択」ダイアログではそれぞれの形式別に表示されます。

が、タイアロクてはそれにれの形式別に表示されます

フォーマットファイルの選択	
<std形式></std形式>	
サンプルレイアウト	
<pro形式></pro形式>	
サンプルデータ	
	キャンセル

USB メモリとデータ連携する

本章では、作成したフォーマットを USB メモリに出力し、USB メモリから FX3-LX にコピーする手順を説明 します。

e-Labe Designer を使ってフォーマットデータや商品マスタを登録する操作方法については、以下のページ を参照してください。

STD 形式: e-Labe Designer を使って発行レイアウトを作成する

PRO 形式: <u>e-Labe Designer を使って PRO 形式のフォーマットファイルを作成し、サーバにデータをアップ</u>ロードする

e-Labe Designer から USB メモリにフォーマットファイルを出力する

USB メモリの準備をおこなう

- 1. USB メモリをパソコンに挿します。
- 2. デスクトップ等にあるコンピュータを開き USB メモリを右クリックープロパティをクリックします。



3. プロパティ画面のファイルシステムが FAT32 かどうかを確認します。

FAT32 だった場合は次の手順は不要です。

🥪 USB	ドライブ (E:))のプロパティ				×
全般	ツール	ハードウェア	共有	ReadyBoost	<u> </u>	
-						
ファイル	システム:	FAT32				

4. 再度 USB メモリの上で右クリックし、フォーマットをクリックします。

フォーマット画面が開きます。

注意

フォーマットを実行すると、USB メモリ内のすべてのデータが削除されます。 必要なデータは退避してください。
5. ファイルシステムを「FAT32」に指定し、開始をクリックします。



6. 以下のフォルダ構成で USB メモリ直下にフォルダを作成します。



注意

フォルダ名は大文字小文字を区別します。

Designer から USB メモリにデータを出力する

- 1. e-Labe Designer でプロジェクトファイルを開きます。
- 2. ツールバーの「データ出力」ボタンをクリックします。

メニューバーの「ファイル」>「データ出力」でも、同様の操作ができます。



「出力対象選択」画面が表示されます。

3. 出力先[デバイスとドライブ]を選択し、出力するデータにチェックを入れて、[OK]をクリックします。



- 「全選択」をクリックすると、プロジェク
 ト内の全データを出力します。
- 「差分のみ」をチェックすると、変更され
 たデータのみ出力するため、高速で出力が
 できます。

 出力先に USB メモリを選び、作成しておいた「SATO」>「FormatFiles」フォルダを指定し[保存]を クリックします。

🤁 アーカイブ出力					×
← → ~ ↑ 📙 → PC >	→ USB ドライブ (E:) → SATO	 FormatFiles 	✓ ひ FormatFilesの検索	ā 🖌	ρ
整理 ▼ 新しいフォルダー				III ▼ (?
🖊 ダウンロード	▲ 名前	^	更新日時	種類	
 ■ デスクトップ ≧ ドキュメント ■ ピクチャ ■ ピデオ ♪ ミュージック ■ Windows (C:) 		検索条件	に一致する項目はありません。		
🔔 USB ドライブ (E:)	✓ <				>
ファイル名(N): サンプルラ	データ.sefmtz				\sim
ファイルの種類(T): フォーマッ	トアーカイブファイル(*.sefmtz)				\sim
▲ フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル	

5. データ出力が完了するとメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



6. USB メモリの「SATO」>「FormatFiles」フォルダをダブルクリックします。



フォーマットが出力されていることを確認します。

e-Labe Print で USB メモリとデータ連携をおこなう

データ連携の設定をおこなう

e-Labe Printの設定メニューでデータ連携用の設定について概要を説明します。

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2. (メニュー)をタップします。

	レンバー発行		
<			>

注意

3. [2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 設定メニュー画面が表示されます。



- 10. [外部ストレージ連携管理]をタップします。
- 11. [外部ストレージ連携]を「オン」にします。



設定項目が有効になります。

12. [ストレージ選択]をタップし、[USB ストレージ]を選択します。



15. USB メモリをコンピュータから外し、FX3-LX の USB ポートに接続します。



データ連携をおこなう



注意

- ・ 設定画面では = (メニュー)は表示されません。 ち をタップして前の画面に戻ってください。
- 2. [ダデータ更新]をタップします。



データ更新画面が開きます。

3. [OK]をタップして、データ連携処理を実行します。

e-Labe
データの更新を行います
OK キャンセル

4. USB デバイスへのアクセス許可確認ダイアログが表示されます。[許可]をタップします。

注意

・[拒否]を選択した場合データ更新に失敗します。データ更新を再実行時、再度ダイアログが表示されますので[許可]をタップしてください。

5. データ更新のプログレスが表示され、更新が実行されます。

e-Labe	e-Labe
データを更新しています	更新確認が完了しました 更新チェック日時 2020/xx/xx 15:04:15
アップロード対象ファイルの一覧を取得します。	46 800 KB
タワンロードを開始します。	サンプルデータ sefmtzのテンポラリから移動しま
フォーマットファイルのダワンロートを開始します。	す。
サンプルデータ.sefmtzをダウンロードします。	ダウンロードは終了しました。
46.899 KB	アップロードを開始します。
74%	アップロードは終了しました。 OK 同期結果

フォーマットファイルが e-Labe Print に取り込まれます。

フォーマットファイルが複数ある場合は、「フォーマットファイルの選択」ダイアログが表示されま す。取り込むフォーマットファイルを選択してください。

注意

・ STD形式とPRO形式のフォーマットファイルが混在している場合、「フォーマットファイルの選択」 ダイアログではそれぞれの形式別に表示されます。

フォーマットファイルの選択	
<std形式></std形式>	
サンプルレイアウト	
<pro形式></pro形式>	
サンプルデータ	
	キャンセル

フォーマット別マスター編集

e-Labe Print で「呼出しテーブル」、「漢字テーブル」、「店名テーブル」のマスター編集をおこなえます。編集 したマスターデータは、FX3-LXの「内部共有ストレージ」>「SATO」>「LocalTables」>「(フォーマット 名)」フォルダ内にオーバーライド(上書き用)ファイルとして保存されます。

注意

本マニュアルでは Ver.1.14.0 で追加/変更したフォーマット別マスター編集機能に基づいて説明を おこないます。e-Labe Designer Ver.1.14.0.0以上、e-Labe Print Ver.1.14.0以上にバージョン アップの上ご利用ください。

e-Labe Designer でマスター編集用フォーマットファイルを準備する

テーブルにマスター編集可否設定をおこなう

e-Labe Designer Ver.1.11.0.0 以上ではテーブル単位でマスター編集を許可するかどうか設定が可能です。 マスター編集を許可されたテーブルのみ、e-Labe Printのマスター編集画面で編集可能となります。 また、マスター編集の可否によって、e-Labe Printで発行時に参照するデータが異なります。

・マスター編集可 :「内部共有ストレージ」>「SATO」>「LocalTables」フォルダを優先して参照 ・マスター編集不可:「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダを参照

注意

- ・ Print でマスター編集可能なフォーマットは PRO 形式です。
- ・ マスター編集不可は、LocalTables にオーバーライドファイルが存在していても参照しません。
- マスター編集可は、LocalTables にオーバーライドファイルが存在しない場合、FormatFiles を 参照します。

1. PRO 形式のプロジェクトを開きます。

- 2. プロジェクトツリーの呼出しテーブルをクリックします
- 3. データウィンドウに表示された「e-Labe Print でのマスター編集を許可」を設定します 初期値はオンです。e-Labe Print でマスター編集をしないテーブルはオフにします。



注意

「e-Labe Print でのマスター編集を許可」が表示されない場合は「プロジェクト設定」>「データ 出力オプション」タブ>「e-Labe Print バージョン」を Ver.1.11.0 以上に変更してください

4. 漢字テーブル、店名テーブルも同様に設定します

マスター編集するフォーマットファイルを出力する

Designer からフォーマットファイルを出力します。出力したフォーマットは e-Labe Print のデータ更新で FX3-LX の「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダにセットします。 本マニュアルでは USB メモリを使ってフォーマットをセットします。

詳細の手順は本マニュアルの以下の手順を参照してください。

▶ USBメモリとデータ連携する

フォーマット別マスター編集を利用するための設定をおこなう

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。

SOS_Agent	SatoSettings
アップテータ	SatoControl
	e-Labe Print

e-Labe Print が起動します。

2.	三 (メニュー)をタップします。
	■ +ンバー発行
	注意
	<u>·</u> 発行画面では (メニュー)は表示されません。 っ をタップして前の画面に戻ってください。

3. [2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

4. [システム管理]をタップします。



5. [メニューカスタマイズ] をタップします。



6. [マスター編集]を「オン」にします。



「オン」にするとドロワーメニューに[マスター編集]が表示されます。[マスター編集]をタップ すると、設定メニューの[マスター編集]画面に遷移します。

フォーマット別マスター編集をおこなう

フォーマットファイルを読み込む

- 1. (メニュー)をタップします。
- 2. [□マスター編集]をタップします。
- 3. マスター編集画面が開きます。



4. フォーマット選択リストボックスをタップします。

注意

- ・ 初期はドロワーメニューで選択しているフォーマットが表示されます。
- ・ 本設定を変更しても、ドロワーメニューのフォーマットは変更されません。
- 5. マスター編集したいフォーマットを選択します。



呼出しテーブルのマスター編集をおこなう

新規登録をおこなう

- 1. [呼出しテーブル]をタップします。
- 2. [新規登録]をタップします。

5 設定	≧ゝ…ゝ呼出しテーブル
新規登録	
コピーして新規	見登録
変更	
削除	
	`川 丞得両面に連投します

呼出しテーフル登録画面に遷移します。

3. 登録したい項目のフィールドをタップします

5 0001	
呼出しNo.	1
呼出し名	
グループ大	
グループ中	
レイアウト指定	0001 青果用JAN13ラベ ル
品名	
アイテムコード	
	登録

呼出し No.は空いている番号の最小値が初期表示されています。

エラー項目は背景がピンク、選択したレイアウトで未使用の項目は表示されません。※ ※Ver.1.13.1以下のバージョンでは未使用の項目はグレーで表示されます。

4. マスター情報を入力します。

各種画面は [確定] と [次へ] ボタンがあります。[確定] をタップすると入力したデータを確定して項目一覧 画面に遷移します。[次へ] をタップすると、確定して次項目へ遷移します。

・ ソフトウェアキーボードを使用した入力

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について、詳しくは FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。

ここでは例として呼出し名を入力します。

ソフトウェアキーボードの [Conter キー] をタップすると、確定して次画面に遷移します。

5	0001			
	呼出	し名を	入力	
+ 1- 0	 >\\/			
++/	~9			
			桁娄	8/32
が、	。から	!	?	畑~
ダイエット	・。か:	からの	太郎	ください
←	いあぇ	き か け こ	しさせ	×
4	ち た て	になね	で は へ ほ	►
?123 😳	а t в в	(や) よ	5 5 n	<u> </u>
ある	•	をわ-	?!	e
	∇	\sim		

注意

確定して呼出しテーブル登録画面に遷移したい場合は、画面下部に表示されているナビゲーション バーの [▽] をタップしソフトウェアキーボードを非表示にし [確定] をタップしてください。

0/ 32

・ グループ(分類)の入力

[^ンリストボックス]をタップし既存グループから選択するか、テキストボックスに直接グループ 名を入力します。

5 0001	5	0001			
グループ選択		グ	ループ達	鈬	
	青果				
青果					
精肉					
鮮魚					
	物 が	`	店 から	! ?	か ~
	からの	ください	しか	からは	した
	€¬	い あ お	き か け こ	し <mark>さ</mark> せ そ	×
	٩	っ た て と	になね	ひ は へ ほ	►
	?123 😳	а t в в		5 5 n	<u> </u>
	b a	•	をわ- ~	?!	¢
		\bigtriangledown	0		

注意

- ・ 新たなグループ名を指定したい場合はテキストボックスに直接新しいグループ名を入力することで登録が可能です。
- ・ レイアウト指定の入力(Designer の設定で複数レイアウト指定がオフの場合に表示)
- レイアウトの一覧から選択するレイアウト名をタップします。

5 0001
レイアウト指定
0001 <mark>青果ラベル(JAN13)</mark>
<mark>0002</mark> 青果ラベル(JAN8)

・ 複数レイアウト指定の入力(Designer の設定で複数レイアウト指定がオンの場合に表示) 発行時に切り替えるレイアウトを設定します。初期値は [全レイアウトを選択] になっています。選 択可能なレイアウトを個別に選択する場合 [個別に選択] を選択し、一覧からリストをタップして選 択します。

[デフォルトレイアウト] で、発行時に初期選択するレイアウトを指定可能です。

0001	5 0001
複数レイアウト指定 デフォルトレイアウト (なし) ✓ ●全レイアウトを選択 ●個別に選択	複数レイアウト指定 デフォルトレイアウト [0001]青果ラベル (JAN13)∨ 全レイアウトを選択 ● 個別に選択
	0001青果ラベル(JAN13) 🗸
	0002 青果ラベル(JAN8) 🗸
	0003 <mark>青果ラベル(JANなし)</mark>
	∧ 1/1 ∨
・確定・次へ	・確定・次へ

5. [登録] ボタンをタップします。

5 0001 	ャベツ		001 キャベツ
呼出しNo.	1	呼出しNo.	1
呼出し名	キャベツ	呼出し名	キャベツ
グループ大	青果	グループ大	青果
グループ中	野菜	グループ中	野菜
レイアウト指定	0001 青果用JAN13ラベ ル	レイアウト指知	を 0001 青果用JAN13ラベ ル
品名	キャベツ	品名	
アイテムコード	90001	アイミ	を豆球しますか?
			キャンセル OK
_			
	登録		登録

「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

コピーして新規登録をおこなう

- 1. [呼出しテーブル]をタップします。
- 2. [コピーして新規登録]をタップします。

設定 > > 呼出しテーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

アイテム絞り込み方法選択画面に遷移します。

3. 検索方法をタップして選択します。

▶ アイテム絞り込み方法選択
アイテム絞り込み方法
ナンハー検索
グループ検索
キーワード検索
バーコード検索

・ ナンバー検索

呼出し No.を入力して、アイテムを呼び出します。

① ソフトウェアキーボードを使って、呼出し No.を入力します。



入力した呼出し No.のアイテムが表示されます。

[<] [>] をタップして、アイテムを番号順に表示することもできます。

② コピー元とするアイテムが表示されたら [確定] をタップします。

57	イテム遺	選択(ナ	ンバー)
\langle	1	1		>
	۲۵			
価格				
原産地表示				
		^		
				`
	1	2	3	BS
	4	5	6	С
	7	8	9	0
		確	定	1

選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ グループ検索

グループ単位でアイテムを絞り込み、呼び出します。グループは3階層まで設定できます。 あらかじめマスターデータにグループ設定をおこなう必要があります。

設定メニューの [グループの絞り込み方法] の設定によって、表示される画面が異なります。 ① グループからアイテムを絞り込みます。

ドロップダウン選択の場合

ドロップダウンリストからグループを選びます。グループに含まれるアイテムが表示されます。

[(すべて)] をタップすると、下の階層のグループのドロップダウンリストが表示されます。この操 作を繰り返してアイテムを絞り込みます。

り アイテム選択(グル・	ープ)	
(すべて)	▶ アイテム選択(グループ)
	青果	ち アイテム選択(グループ)
0012 ミニトマト レ	(すべて)	青果
0015 ししとう	L 野采 果物 ┏━►	野菜 ~
0016 なす	0013 きゅうり	(すべて) 果菜類
0017 長なす 0018 米なす	0015 ししとう	葉茎菜類
0019 かぼちゃ		根菜類 [⁰⁰¹³] さゆつり
0020 ゴーヤ	0017 長なす 0018 米なす	
	0019 かぼちゃ	0016 なす 0017 長なす
^ 1/12		0018 米なす
	∧ 1/14	
		∧ 1/10 ∨

ここでは例として [青果] を選びます。さらに [(すべて)] > [野菜] をタップすると、[野菜] グル ープに含まれるアイテムが表示されます。

順次選択の場合

大分類>中分類>小分類の順にグループ名をタップして絞り込みます。



ここでは例として大分類 [青果] を選びます。さらに中分類 [野菜] >小分類 [果菜類] をタップすると、[果菜類] グループに含まれるアイテムが表示されます。

大分類、中分類の画面で [(すべて)] をタップすると、大分類または中分類に含まれるアイテムすべてが表示されます。

アイテムをタップします。
 選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

94

・ キーワード検索

商品名などのキーワードで検索して、アイテムを呼び出します。 部分一致で検索するため、入力した文字が呼出しデータ名のどこかに含まれていれば検索対象とな ります。複数のアイテムがヒットした場合は、候補が一覧表示されます。

① ソフトウェアキーボードを使って、キーワードを入力します。

▶ アイテム選択(キーワード)		ち アイテム選択(キーワード)
		+ +
検索する文字列を入力してください。		0011 トマト
		0012 ミニトマト
	, i	● 「が 」、 」。 ソース 。 ジュース 。 × から 」 ! 「缶」ケチャップ 」 ? スープ 」
		್ಷ ು ಕ್ ನ ಕಿ∆್ ರ ರ ಕ
● こ て ● たて になね ひはへ ▶ ● たと の ほ		start rata vita ►
?123 ② みまめ (や) りられ ニ		?123 ③ みまめ (や) りらうれ ニ
あ₀ ⊕ ε ^λ ρ - ΩΩ! ✓		あ₀ ⊕ ∞ h − ₀ Ω Ω ! 🗸

アイテムをタップします。

選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ バーコード検索

呼出し No.に対応したバーコードをバーコードスキャナで読み取って呼び出します。 現在対応しているバーコードスキャナは、DENSO「SH1」です。 あらかじめe-Labe Designer で呼出し No.とバーコードの紐づけをおこなっておく必要があります。

① バーコードを読み取ります。



読み取ったアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

- ・ バーコードスキャナが使用できない場合
- 1. 手順①で [テンキーで入力] をタップして、入力画面を表示させます。
- 2. バーコードの番号を入力します。

検索結果は入力内容に応じて絞り込まれます。



3. アイテムをタップします。

選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

4. 編集したい項目のフィールドをタップし値を変更します。

各項目の入力方法の詳細は本マニュアルの以下を参照してください。

▶ 呼出しテーブルのマスター編集をおこなう>新規登録をおこなう>4.マスター情報を入力します。

5 0001 ト	マト
呼出しNo.	1
呼出し名	+2+
グループ大	青果
グループ中	野菜
グループ小	果菜類
レイアウト指定	0001 青果ラベル (JAN13)
品名	トマト
アイテムコード	13060
部門コード	100

5. [登録] ボタンをタップします。

5 0001	ミディトマト
呼出しNo.	1
呼出し名	ミディトマト
グループ大	青果
グループ中	野菜
グループ小	果菜類
レイアウト指定	0001 青果ラベル (JAN13)
品名	ミディトマト
アイテムコード	13032
部門コード	100
	登録



「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

変更をおこなう

- 1. [呼出しテーブル]をタップします。
- 2. [変更]をタップします。

設定 > > 呼出しテーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

呼出しテーブル変更画面に遷移します。

3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- ▶ ナンバー検索
- ▶ グループ検索
- ▶ キーワード検索
- ▶ バーコード検索



各検索方法で選択したアイテムの変更画面が表示されます。

4. 変更したい項目のフィールドをタップし値を変更します。

呼出し No.は変更できません。

→ 0001 <i>≡</i>	ディトマト
呼出しNo.	1
呼出し名	ミディトマト
グループ大	青果
グループ中	野菜
グループ小	果菜類
レイアウト指定	0001 青果ラベル (JAN13)
品名	ミディトマト
アイテムコード	13032
部門コード	100
	変更

5. [変更] ボタンをタップします。





「データを変更しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると変更が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの変更を実行すると元に戻すことはできません。

削除をおこなう

- 1. [呼出しテーブル]をタップします。
- 2. [削除] をタップします。

● 設定 > > 呼出しテーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

呼出しテーブル削除画面に遷移します。

3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- ▶ ナンバー検索
- ▶ グループ検索
- ▶ キーワード検索
- ▶ バーコード検索



各検索方法で選択したアイテムの削除画面が表示されます。

4. [削除] ボタンをタップします。

5 0001 :	ミディトマト		5 000	21 ミディトマト
呼出しNo. 呼出し名	1 ミディトマト		呼出しNo. 呼出し名	1 ミディトマト
グループ大	青果		グループ大	青果
グループ中 グループ小	(野采 (果菜類		グループ中 グループ小	野菜 果菜類
レイアウト指定	0001 青果ラベル (JAN13)		レイア <u>ウト指定</u> データ2	「1001 青果ラベル を削除しますか?
品名	ミディトマト		品名 この操作を示 よろしいです	に戻すことはできません。 か?
アイテムコート 部門コード	203		アイ: 部門コード	キャンセル OK
_		,		
	削 除			

「データを削除しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると削除が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの削除を実行すると元に戻すことはできません。

漢字テーブルのマスター編集をおこなう

新規登録をおこなう

1. [漢字テーブル]をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。

5	設定 > > 漢字テーブル
原産地テ	ーブル
生産者テ	ーブル

注意

e-Labe Designer でテーブル一覧に表示される漢字テーブルの編集が可能です。新たに漢字テーブルを追加したい場合は、Designer で追加する必要があります。

3. [新規登録]をタップします。

5 設定>	・ > 生産者テーブル
新規登録	
コピーして新規登	。 经录
変更	
削除	

漢字テーブル登録画面に遷移します。

4. 登録したい項目のフィールドをタップします

登録来号	0004
登録データ	4
	登録

登録番号は空いている番号の最小値が初期表示されています。

5. マスター情報を入力します。

各種画面は [確定] と [次へ] ボタンがあります。[確定] をタップすると入力したデータを確定して漢字テー ブル登録画面に遷移します。[次へ] をタップすると、確定して登録データへ遷移します。

・ 登録番号を入力

ソフトウェアキーボードで登録番号を入力します。

[<] [>] をタップして、空き番号を番号順に表示することもできます。

50	04			
	登録番	号を入力	5	
<		4		\rightarrow
			桁数	1/4
Ŀ	_ 確定		桁数	1/ 4
<u>.</u>	_ 確定 1	2	桁数 • 次 3	1/ 4
<u>.</u>	_ 確定 1 4	2	桁数 ▲ 次 3 6	1/ 4 BS C
	- 確定 1 4 7	258	桁数 ・ 次 3 6 9	1/ 4 BS C 0

・ 登録データを入力

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。 ソフトウェアキーボードの [C Enter キー] をタップすると、確定して登録画面に遷移します。

5	0004			
	登録	データを	入力	
佐藤農	園			
			桁数	8/1000
			桁数	8/1000 隺定
←	いあえ	きかけ こ	桁数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8/1000 確定
4	い の おった と て	きかこ た た の	桁数 ・ ・ ひ こ よ い な に い へ に い 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	8/1000 確定 X
 1 1 1 1 1 2 2 	い あまったと むまっ たと む まも	< か こ ぬ な の ゆ や よ)	桁数 ・ ・ ・ ・ ・ はは ・ 。 ら 。 れ	8/1000 確定 X
শন ব ?123 © ক্টা	ぃ あぉったと むまっ たとむまも ⊕	<かこぬなのゆやよんわ~ (を	桁数 ・ ・ ・ ・ ・ はほ 。 らろ 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8/1000 確定

6. [登録] ボタンをタップします。

● 0004 佐藤農園	5 0004 佐藤農園
登録番号 4	登録番号 4
登録データ 佐藤農園	登録データ 佐藤農園
	デークを発行しますか?
	ナーシャンセル OK
登録	登録

「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

コピーして新規登録をおこなう

1. [漢字テーブル]をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。



3. [コピーして新規登録]をタップします。

● 設定 > > 生産者テーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

4. 検索方法をタップして選択します。


・ 番号入力検索

登録番号を入力して、テーブルを呼び出します。

① ソフトウェアキーボードを使って、登録番号を入力します。



入力した登録番号のテーブル情報が表示されます。

[<] [>] をタップして、テーブルを番号順に表示することもできます。

② コピー元とするテーブルが表示されたら [確定] をタップします。

<u> ち た </u>	産者テ-)	-ブル選	訳(番	号入
<		1		>
佐藤 太郎				
	1	2	3	BS
	4	5	6	С
	7	8	9	0
		確	定	I

選択したテーブル情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ 一覧検索

一覧からテーブルを選択します。

① コピー元とするテーブルをタップします。

● 生産者テーブ	ル選択(一覧)
0001 佐藤 太郎	
0002 佐藤 花子	
0003 佐藤 次郎	
0004 佐藤農園	
<u>∧</u> 1/1	$\mathbf{\vee}$

5. 編集したい項目のフィールドをタップします。

各項目の入力方法の詳細は本マニュアルの以下を参照してください。

> 漢字テーブルのマスター編集をおこなう>新規登録をおこなう>4.マスター情報を入力します。

5	0005 佐藤 太郎
登録番号	5
登録デー会	" 佐藤 太郎
	<u>∧</u> ∨
	登録

登録番号は空いている最小値が初期表示されています。

6. [登録] ボタンをタップします。





「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

変更をおこなう

1. [漢字テーブル]をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。

設定 > > 漢字テーブル
原産地テーブル
生産者テーブル

3. [変更]をタップします。



4. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- 番号入力検索
- ▶ 一覧検索

生産者テーブル絞り込み方法選 択
レコード絞り込み方法
番号入力
一覧

各検索方法で選択したテーブルの変更画面が表示されます。

5. [登録データ]をタップし値を編集します。

5 0002 佐藤 花子	5 000	2 佐藤 花子	<u>z</u>	
登録番号 2 登録データ 佐藤 花子	登底藤 花代	き録データを	入力	
			+/= #/+	10/1000
	、 。 ガ !	? から	#T#V か↓↓	$ \rightarrow \vee$
	ください からの) ← して	した	しか
	<⊓ ນ ້ ອ	え き か け	しさせ	☑
	 <	てになねの	ぃぱヽ	Þ
	?123 😳 みま	め (や) よ	5 5 n	<u> </u>
	a	をわ- ~	? 	e
変 更	\bigtriangledown	0		

6. [変更] ボタンをタップします。



「データを変更しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると変更が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの変更を実行すると元に戻すことはできません。

削除をおこなう

1. [漢字テーブル]をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。

	> 漢字テーブル
原産地テーブル	
生産者テーブル	

3. [削除] をタップします。

● 設定 > > 生産者テーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

4. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- 番号入力検索
- ▶ 一覧検索

レコード絞り込み方法 番号入力
一覧

各検索方法で選択したテーブルの削除画面が表示されます。

5. [削除] ボタンをタップします。



▶ 0005 佐藤 三郎
登録番号 5
登録データ 佐藤 三郎
データを削除しますか?
この操作を元に戻すことはできません。 よろしいですか?
キャンセル ОК

「データを削除しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると削除が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの削除を実行すると元に戻すことはできません。

店名テーブルのマスター編集をおこなう

新規登録をおこなう

1. [店名テーブル]をタップします。

注意

e-Labe Designer のテーブル一覧に店名テーブルが表示されていない場合、e-Labe Print で店名 テーブルのマスター編集ができません。Designer で追加する必要があります。

2. [新規登録]をタップします。

● 設定 > > 店名テーフ	ブル
新規登録	
コピーして新規登録	
変更	
削除	
店名テーブル登録画面に遷移	します。

3. 登録したい項目のフィールドをタップします

5	0004
登録番号	4
店名	
住所	
電話番号	
メモ	
	登録

登録番号は空いている番号の最小値が初期表示されています。

4. マスター情報を入力します。

各種画面は [確定] と [次へ] ボタンがあります。[確定] をタップすると入力したデータを確定して漢字テー ブル登録画面に遷移します。[次へ] をタップすると、確定して登録データへ遷移します。

・ 登録番号を入力

ソフトウェアキーボードで登録番号を入力します。

[<] [>] をタップして、空き番号を番号順に表示することもできます。

5 000	04					
登録番号を入力						
<		4		>		
			桁数	1/ 4		
J	. 確定		桁数 土 次	1/ 4		
Ł	. 確定 1	2	桁数 土 次 3	1/ 4		
Ł	. 確定 1 4	2	桁数 ・ 次 3 6	1/ 4 BS C		
<u>*</u>	. 確定 1 4 7	2 2 5 8	桁数 ▲ 次 3 6 9	1/ 4 BS C 0		

・ 店名、住所、電話番号、メモを入力

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは、FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。 ソフトウェアキーボードの [e Enter キー] をタップすると、確定して登録画面に遷移します。

5	0004					
	店名を入力					
田町店	ī					
			桁	数 6/60		
が、	。から	! '	?	かく		
からの	先構え	番	売り	ください		
4 -1	っ あ ぇ ぉ	き か け こ	しさせ	≤		
٩	っ た と	になっ	ぃはへ ほ	Þ		
?123 😳	а t в ъ	(や) よ	り <mark>る</mark> れ ろ	<u> </u>		
あ [。]	•	ъ わ-	?!	¢		

注意

確定して呼出しテーブル登録画面に遷移したい場合は、画面下部に表示されているナビゲーションバーの [▽]をタップしソフトウェアキーボードを非表示にし [確定]をタップしてください。

5	0004
	店名を入力
田町店	
	桁数 6/ 60
	・確定・次へ

5	0004 田町店	5	0004 田町店
登録番号	4	登録番号	4
店名	田町店	店名	田町店
住所	東京都港区芝浦〇〇〇	住所	東京都港区芝浦〇〇〇
電話番号	03-XXXX-XXXX	電話番号	03-XXXX-XXXX
メモ	東京エリア	メモ	東京エリア
		<i></i>	-タを登録しますか? キャンセル OK
	登録		登録

5. [登録] ボタンをタップします。

「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

コピーして新規登録をおこなう

- 1. [店名テーブル]をタップします。
- 2. [コピーして新規登録]をタップします。

設定 > > 店名テーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

3. 検索方法をタップして選択します。

5	店名テーブル絞り込み方法選択
レコード 番号入力	※絞り込み方法]
一覧	

・ 番号入力検索

登録番号を入力して、テーブルを呼び出します。

① ソフトウェアキーボードを使って、登録番号を入力します。



入力した登録番号のテーブル情報が表示されます。

[<] [>] をタップして、テーブルを番号順に表示することもできます。

② コピー元とするテーブルが表示されたら [確定] をタップします。

与店	名テーフ	ブル選択	(番号	入力)
<		4		>
田町店				
	1	2	3	BS
	4	5	6	С
	7	8	9	0
		確	定	

選択したテーブル情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ 一覧検索

一覧からテーブルを選択します。

① コピー元とするテーブルをタップし	ます。
ち 店名テーブル選択 (一覧)	
0001 大宮店	
0002 上尾店	
0003 浦和店	
0004 田町店	
∧ 1/1 ∨	

4. 編集したい項目のフィールドをタップします。

各項目の入力方法の詳細は本マニュアルの以下を参照してください。

▶ 店名テーブルのマスター編集をおこなう>新規登録をおこなう>4.マスター情報を入力します。

5	0005 田町店
登録番号	5
店名	田町店
住所	東京都港区芝浦〇〇〇
電話番号	03-XXXX-XXXX
メモ	東京エリア
	登録

登録番号は空いている番号の最小値が初期表示されています。

5. [登録] ボタンをタップします。



「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

変更をおこなう

- 1. [店名テーブル]をタップします。
- 2. [変更]をタップします。

▶ 設定 > > 店名テーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- ▶ 番号入力検索
- ▶ 一覧検索

5	店名テーブル絞り込み方法選択
レコード	「絞り込み方法
留亏八八	J
一覧	

各検索方法で選択したテーブルの変更画面が表示されます。

4. 変更したい項目のフィールドをタップし値を変更します。

登録番号は変更できません。

5	0001 大宮店	
登録番号	1	
店名	大宮店	
住所	埼玉県さいたま市大宮区〇〇〇	
電話番号	048-XXX-XXXX	
メモ		
	変 更	





5	0001	大宮店		
	J	店名を入た	Ъ	
さいた	ま店			
			桁数	10/ 60
		確定	桁数	(10/60 次へ
	Ŧ	確定	桁数	: 10/ 60 次へ
←1	・ い あ お お	確定 * かけ こ	桁数 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	: 10/ 60 次へ ·
4	・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	確定 * かけ になの	桁数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(10/ 60 次へ
 ▲ 7123 ☺ 	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	確定 さかこ点なの。 (や)	桁数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(10/ 60 次へ
শন ৰ ?123 @ ক্ৰ	↓ いあまえ おったとむもも ●	確定 きかこ きなの ゆやよ んわ~ をわ~	桁数 し ままま や すまままで、 からろうで、 り の し、 、 し、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 10/ 60 次へ ∞ ► □



「データを変更しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると変更が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの変更を実行すると元に戻すことはできません。

削除をおこなう

- 1. [店名テーブル]をタップします。
- 2. [削除] をタップします。

▶ 設定 > > 店名テーブル
新規登録
コピーして新規登録
変更
削除

3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- ▶ 番号入力検索
- ▶ 一覧検索

5	店名テーブル絞り込み方法選択
レコード 番号入力	絞り込み方法
一覧	

各検索方法で選択したテーブルの削除画面が表示されます。

5	0002 上尾店		5	0002 上尾店
登録番号	2		登録番号	2
名	上尾店		店名	上尾店
所	埼玉県上尾市△△△		住所	埼玉県上尾市△△△
電話番号	048-XXX-XXXX		電話番号	048-XXX-XXXX
メモ			メモ	
			デー この操 よろし	・夕を削除しますか? ^{作を元に戻すことはできません。} ^{いですか?} キャンセル OK
		1		
	削除			削除

4. [削除] ボタンをタップします。

「データを削除しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると削除が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの削除を実行すると元に戻すことはできません。

データ更新時フォーマット別マスター編集ファイルをクリアする

データ更新時にフォーマット別マスター編集ファイルを自動的に削除します。初期設定では、データ更新時に フォーマット別マスター編集ファイルは削除せず、別途マスター編集メニューから削除します。 例えば、サーバで一元管理されたマスター配信が基本運用ですが、マスター配信が間に合わない場合など暫定 的に店舗にてマスター登録を利用したい場合などにご利用いただけます。

データ連携方法の詳細は以下をご参照ください。

▶ データ連携処理

注意

・クリアされたマスター編集ファイルは復元できません

・データ更新時フォーマットに関する更新が無い (ダウンロードをスキップした) 場合はマスター編 集ファイルはクリアされません

・フォーマットが複数ある場合、いずれかのフォーマットに更新があった場合にすべてのマスター編 集ファイルをクリアします(更新があったフォーマットのみクリアすることはできません)

・マスター編集ファイルのクリアはデータ更新画面のログで確認してください

e-Labe
更新確認が完了しました
更新チェック日時 2023/04/17 16:41:15
移動します。
タウンロードは終了しました。
アップロードは終了しました。
マスター編集ファイルを削除します。 マスター編集ファイルを削除しました。
ОК

データ更新時フォーマット別マスター編集ファイルをクリアする設定をおこなう

1. (メニュー)をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

3. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



4. [更新後マスター編集ファイルをクリア]を「オン」にします



Print で編集したマスターデータを自動バックアップする

e-Labe Print でマスター編集したデータは FX3-LX の内部ストレージに保存されます。FX3-LX 本体の故障な どにより編集データが失われることを避けるため、データ更新機能を使った自動バックアップの設定をお勧め します。

- 1. (メニュー)をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

3. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。

5	設定	
マスタ-	-編集	
操作設定	È	
システム	」管理	
外部スト	- レージ連携管理	
周辺機器	器接続設定	

4. [外部ストレージ連携] 設定が「オン」になっていることを確認します。

「オフ」の場合は「オン」にします。

外部ストレージ連携設定がされていない場合は、バックアップをアップロードする先の接続設定や 同期トリガーの設定をおこなってください。詳細は以下をご参照ください。

- ▶ データ連携処理
- 5. [連携対象データ]をタップします。



注意

6. [バックアップデータアップロード]の[マスター編集ファイル]を「オン」にします。



データ更新が実行されると、マスター編集ファイルがデータ連携先にアップロードされます。 連携先のバックアップフォルダは「バックアップ世代数の設定」に基づいた世代分保管されます。

注意

データ更新によるバックアップ時、データ連携先の最新バックアップ情報と現在のファイルや設定 を比較し、更新がない場合はバックアップをスキップします。

・バックアップ先のフォルダ構成について

バックアップデータはデータ連携先の BackupFiles フォルダ内に端末単位に保存されます。 詳細は以下の通りです。

例)【機種名】FX3-LX DT305-Ad 【シリアル No.】XX999999 【端末 No.】0001 [2022/4/1 7:10:30]と[2022/4/3 7:30:46]にバックアップをした場合



Designer 編集前に Print のマスターデータを取り込んで同期をとる

e-Labe Print でマスター編集したデータを Designer で取り込むことで同期を取ります。 Designer で呼出しテーブルの項目を追加/削除したり、データセット項目の並びを変更すると、Print に保存 されているマスターデータと不整合が起きるため、マスターデータが読み込めなくなります。上記の変更時は Designer でマスターデータのバックアップをインポートして同期を取ってから操作してください。

マスターデータを取り込む準備をする

バックアップデータが USB メモリ以外のサーバにアップロードされている場合は、サーバからバックアップ フォルダをローカル PC 等にダウンロードします。 本マニュアルでは USB メモリを例に説明します。

1. コンピュータにバックアップデータが保存されている USB メモリを挿します。

2. 編集したデータを取り込むプロジェクトファイルを起動します。



3. 呼出しテーブルをダブルクリックします。



4. [インポート]ボタンをクリックします。

ło	呼出しNo. 🔺	呼出し名	検索用呼出し名	グループ大	グループ中	レイアウト指定	品名	^	インポート(1)
1	1	ピーマン		書果	野菜	- *	ピーマン	Ļ	エカフポート(E)
2	11	トマト		青果	野菜	- *	<u>۲</u>		T22/1/- (77)
3	12	≷二トマト		 青果	野菜	[1] 春果用JAN13	ミニトマト		データチェック(<u>C</u>)
. 4	13	きゅうり		書果 -	√ 野菜	[1] 春果用JAN13	きゅうり		簡易ブレビュー(い)
5	15	ししとう		書果	野菜	[1] 春果用JAN13	ししとう		
6	16	なす		書果	野菜	[1] 春果用JAN13	なす		ブレビュー・テスト(工)
7	17	長なす		青果	野菜	[1] 春果用JAN13	長なす		ダンプ出力(U)
8	18	米なす		青果	野菜	[1] 青果用JAN13	米なす		
9	19	かぼちゃ		青果	野菜	[1] 春果用JAN13	かぼちゃ		データ出力(<u>0</u>)
10	20	ゴーヤ		書果	野菜	[1] 春果用JAN13	ゴーヤ		
11	21	おくら		書果	野菜	[1] 春果用JAN13	おくら	J	
	· · ·		1		m 7.44	[>	Ť.	
= +++									

5. インポートするファイルを選択します。

USB メモリのドライブ> SATO> BackupFiles>(復元する端末名フォルダ)>(バックアップ日時 フォルダ)> LocalTables>本体メンテナンス DEMO フォルダを選択し、「PresetTable.csv」を選択 し[開く]をクリックします。

注意

バックアップデータのフォルダ構成の詳細は以下をご参照ください。

▶ バックアップ先のフォルダ構成について



6. インポート方法の確認ダイアログが表示されます。[削除]を選択し、[OK]をクリックします。



7. データ削除の確認ダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。

e-Labe De	esigner ×	
	呼出しテーブルデータのインポートを行うと、既存のデータはすべて失われま す。よろしいですか?	
	はい(Y) いいえ(N)	

編集したマスターデータが Designer の呼出しテーブルにインポートされます。

注意

e-Labe Print で新規登録したデータは呼出しテーブルの末尾に追加されます。 呼出し No.順にソートするには「呼出し No.」の列をクリックして並び替えを行ってください。

8. [閉じる]をクリックし、保存の確認ダイアログで[はい]を選択します。

0	呼出しNo. 🔺	呼出し名	検索用呼出し	名 グループ大	グループ中	U/P	7ト指定	品名	^	インポート(1)
1	1	ピーマン		青果	野菜	- *		ピーマン	- 1	エクスポート(E)
2	2	にんじん		青果	野菜	- *		にんじん	_	
3	11	<u></u>		書果2	野菜	- *		<u>۲</u> ۲۲		データチェック(C)
4	12	ミニトマト		青果	野菜	[1] 春:	果用JAN13	174_×		簡易ブレビュー(V)
5	13	きゅうり		 青果	野菜	[1] 春:	果用JAN13	きゅうり		
6	15	ししとう	e-Lab	e Designer		×	用JAN13	ししとう		7061-778(1)
7	16	なす					見用JAN13	なす		ダンプ出力(U)
8	17	長なす					見用JAN13	長なす		
9	18	米なす			変更を保存しますか?		見用JAN13	米なす		データ出力(0)
10	19	かぼちゃ					見用JAN13	かぼちゃ		
11	20	ゴーヤ	E E	HUM	7/50 +++>	47 II.	【用JAN13	ゴーヤ	~	
		1.75		1a-01(1)	A(N) +17	270		1. 75	>	

漢字テーブルデータを取り込む

1. マスター編集した漢字テーブルをダブルクリックします。

C 本体メンテナンスDEMO.peproz - e-Labe Designer	- 🗆 X
: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) データ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
💾 • 🖵 🔟 📭 🦊 🔿 🔿 🖓 🖺 🖓 X 🚬 mm Y	# □□ ₽ ₽ C E ++ <u>U</u> u H i i E =1 mm
	プロジェクト ユ ×
A 文字列	日日 10 プロジェクト
3 9 価格	
パーコード	
	ー <u>!</u> [1] 春果用ラベル(JANなし) 白-533 オープル
123 連番	
国定グラフィック	- 190-93] 店名テーブル
21 切替グラフィック	
	レイアウト数: 3 / 500
₩ a	<i>₸-</i> ⁄? ₽ ×
אראב <u>191</u>	
バーコードウィザード	

2. [インポート]ボタンをクリックします。

[1] 原産地	テーブル - テーブル	編集				\times
						7
No.	登録番号	漢字テーブル1	^	î	_挿入(<u>N</u>)
▶ 1	1	埼玉県産		1	〒町118金(D)
2	2	神奈川県産			1111000	
3	3	千葉県産		- 1.	ンポート(」)
4	4	茨城県産	┞	тh	フポート(E)
5	5	群馬県産		12	A/0 = PA	<u>_</u> /
6	6	栃木県産		検	索/置換(S)
7	7	北海道産				
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20			~	E	閉じる(<u>C</u>)	

3. インポートするファイルを選択します。

USB メモリのドライブ> SATO> BackupFiles>(復元する端末名フォルダ)>(バックアップ日 時フォルダ)> LocalTables>本体メンテナンス DEMO フォルダを選択し、「Table_#01.csv」を 選択し[開く]をクリックします。



注意

漢字テーブルデータが複数ある場合は、漢字テーブルのテーブル番号と同じ番号の CSV データをインポートしてください。

以下の例では「原産地テーブル」のテーブル番号は<u>[1]</u>となるため、「Table_#<u>01</u>.csv」を選択します。



4. インポート方法の確認ダイアログが表示されます。[削除]を選択し、[OK]をクリックします。



編集したマスターデータが Designer の漢字テーブルにインポートされます。

5. [閉じる]をクリックし、保存の確認ダイアログで[はい]を選択します。

[1]	原産地フ	テーブル - テーブル	編集			- 🗆 2	×
							7
N	D.	登録番号	漢字テーブル1		^	行挿入(<u>N</u>)	
•	1	1	埼玉県産			(テ賀川協会(口))	
	2	2	神奈川県産			THOMAN D	
	3	3	千葉県産			インポート(1)	
	4	4	茨城県産				_
	5	5	群馬県産			エクスボード(上).	
	6	6	栃木県産			榆索/罟換(S)	1
	7	7	北海道産	e-Labe Designer X		1X NO LEIXON	·
	8	8	青森県産				
	9	9	秋田県産				
	10	10	岩手県産	デーブルへの変更を保存しますか?			
	11						
	12						
	13						
	14			はい(Y) いいえ(N) キャンセル			
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20					問いる(の)	
					\checkmark	19000	<u> </u>

店名テーブルデータを取り込む

1. 店名テーブルをダブルクリックします。

本体メンテナンスDEN	10.peproz - e-Labe	Designer								-		×
: ファイル(F) 編集(E)	表示(V) データ	(D) ツール(T)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(H)								
i 🏠 - 🔛 🔟 ங	↓ ∩∩>	e 🗅 🗳 I 🍳	X	mm Y	mm	리의 옥	HH TO LO	10 图	J	9, 🗈		#
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~								プロジェクト				ųΧ
								1091/ 1091/	7ト -			
A ^{文字列}								- 105 - 105	ノェクト 呼出しテーブル			
。自価格								÷-	レイアウト 📑 [1] 春果用	JAN1354	π	
バーコード									[2] 春果用	JAN85~	i i itst y	
日時								- <b>N</b>	しい 日本 Hi テーブル		wa.0)	
123 連番									[1] 原産地 し」 王産者	テーブル テーフル	1	
固定グラフィック									[90-93] 店	名テーブル	J	
切替グラフィック												
罫線												
— 枠線										V	イアウト製	久:3/500
表								データ				ųΧ
דעדב ESC												
バーコードウィザード												
Inderes												
												.::

## 2. [インポート]ボタンをクリックします。

0.	登録番号	店名	住所	電話番号	카	^	行挿入( <u>N</u> )
1	1	大宮店	埼玉県さいたま市大宮…	048-XXX-XXXX			(二番) 服金(の)
2	2	上尾店	埼玉県上尾市△△△	048-XXX-XXXX		_	1丁用印刷末(①)
3	3	浦和店	埼玉県さいたま市浦和	048->>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>			インポート(1)
4							
5							TOXALLE
6							検索/置換(S)
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
10							

3. インポートするファイルを選択します。

USB メモリのドライブ> SATO> BackupFiles>(復元する端末名フォルダ)>(バックアップ日時 フォルダ)> LocalTables>本体メンテナンス DEMO フォルダを選択し、「ShopTable_#90.csv」を 選択し[開く]をクリックします。

呼出しテーブルデータのインポート			×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$ $\bullet$ $\checkmark$ LocalTables	> 本体メンテナンスDEMO	ٽ ~	○ 本体メンテナンスDEMOの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	_		<u>⊧</u> ▼ <b>1</b> ?
<ul> <li>ダウンロード</li> <li>デスクトップ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>ミュージック</li> <li>Windows (C:)</li> <li>USB ドライブ (D:)</li> </ul>	PresetTable .csv	ShopTable_ #90.csv	a, #01.c
ファイル名(N): S	hopTable_#90.csv	~	CSV (カンマ区切り) (*.csv) 〜 開く(O) キャンセル

4. インポート方法の確認ダイアログが表示されます。[削除]を選択し、[OK]をクリックします。

インポート	?	$\times$
既存データ		
◉ 削除		
○ 追加·更新		
ОК	キャン	セル

編集したマスターデータが Designer の店名テーブルにインポートされます。

5. [閉じる]をクリックし、保存の確認ダイアログで[はい]を選択します。
### フォーマット別マスター編集

	登録番号	店名	住所	電話番号	メモ	^	行挿入( <u>N</u> )
• 1	1	大宮店	埼玉県さいたま市大宮…	048-XXX-XXXX			(二名) 肥金(口)
2	2	上尾店	埼玉県上尾市△△△	048-XXX-XXXX			17月11月末(日)
3	3	浦和店	埼玉県ざいたま市浦和	048-XXX-XXXX			インポート(1)
4	4	川口店	埼玉県川口市・・・ロ…	048-XXX-XXXX			
5	5	赤羽店	東京都北区赤羽・・・…	03-X000X-X000X			エクスホート(ビ)
6	3						榆索/罟換(S)
7	,	e-Labe De	esianer	>	<		Berry data (g)
8	}						
9	)						
1	0		=_ブルムの本面を収存しま	+			
1	1		) - ノルへの変更を味得しま	9 //-1			
1	2						
1	3						
1	4	La la	いいえ(N)	キャンセル			
1	15						
1	6						
	7						
1							
1	8						

### Designer からデータ出力をおこない、フォーマットファイルを FX3-LX に反映する

Print のマスターデータと同期したフォーマットファイルを、再度 FX3-LX に反映させます。 <手順>

- ・FX3-LX に USB メモリからデータ更新でフォーマットファイルをセット
- ・FX3-LXの古いマスターファイルの削除
- 1. Designer のデータ出力で、USB メモリを指定してフォーマットファイルを出力します。

🔁 🖸 🕂 🖉 🖓

詳細の手順は本マニュアルの以下の1~4の手順を参照してください。

- フォーマットファイルをエクスポートする
- 2. 「1」の USB メモリを FX3-LX に挿し、データ更新を実行します。

詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

- ▶ USBメモリとデータ連携する
- 3. (メニュー)をタップします。
- 4. [ 2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

5. 設定メニュー画面で [マスター編集] をタップします。



6. [マスターファイル削除]をタップします。

● 設定 > マスター編集
端末No.
- 桁数
店名テーブル (0番)
フォーマット別マスター編集
<本体メンテナンスDEMO> V
呼出しテーブル
漢字テーブル
店名テーブル
マスターファイル削除

7. 削除するマスターファイルを選択し、[OK]をタップします。

● 設定… > マスターファイル削除
選択したマスターファイルを 削除します
■すべてを選択
本体メンテナンスDEMO 🖌
∧ 1/1 ∨
ок

8. 削除の確認ダイアログが表示されたら[OK]をタップします。



# 発行履歴機能

発行履歴データを e-Labe Print 内部で持つ履歴データベースに記録します。記録した履歴は、テキストファ イルに出力してパソコンで確認したり、e-Labe Print の発行履歴表示画面で確認したりすることが可能です。

#### 注意

本資料の記載内容は e-Labe Ver.1.15.0 以上のご利用を前提とします。

# 発行履歴項目

発行履歴で記録できる項目は[固定項目]と[任意項目]があります。

e-Labe Printの発行履歴出力設定を[使用する]にすると[固定項目]が記録されます。

[固定項目]以外に記録したい項目がある場合は e-Labe Designer で指定します。



#### ■固定項目

項目名	データ	備考
発行指示日	YYYY-MM-DD	
発行指示時刻	hh:mm:ss	
発行完了日	YYYY-MM-DD	下記注釈を参照
発行完了時刻	hh:mm:ss	下記注釈を参照
呼出し No.	0001~9999	
発行指示枚数	000001~009999	
発行完了枚数	<通常時>	下記注釈を参照
	000001~009999	■e-Labe での発行キャンセル時
	<エラー時>	発行が確認できた枚数を表示
	E01:000001~009999	■通信エラー時
	E02:000001~009999	エラーフラグ(E01/E02)と発行が確認できた枚数を表示
		E01:コマンド送信前にエラー発生
		E02:コマンド送信後にエラー発生

※「発行完了日」「発行完了時刻」「発行完了枚数」の項目は、e-Labe Print の「枚数カウント表示」設定が有効な場合、またはレイアウト中に「リアルタイム発行機能が有効な日時オブジェクト」が含まれている場合に 値を記録し、それ以外の場合は値を記録しません。 また、発行履歴をテキストファイルにエクスポート時は記録されていない項目は値が空で出力されます。

#### 発行履歴データについて

・e-Labe で発行途中にキャンセルした場合に記録される発行履歴データについては巻末の「[付録]キャンセル時の発行履歴データについて」をご参照ください。

・下図のように発行履歴の[発行完了枚数]にエラーフラグが表示されている場合は発行途中に通信エラ ーによりプリンタの状態確認ができなくなったことを示します。コマンド送信後に通信エラーが発生した 場合は、表示されている[発行完了枚数]以上に実際のラベルが印字される場合があります。



#### ■任意項目

レイアウト上にある項目を発行履歴に記録可能です。設定は Designer の発行履歴設定画面でおこないます。 Designer の細かな設定方法は「発行履歴機能の基本設定」をご参照ください。

<任意項目の条件>

設定可能な最大項目数:99項目

1項目あたりの最大桁数:1000桁

全項目の合計の最大桁数:5000桁

・Designerの設定画面

No.	履歴項目	開始桁	桁数	サンプル	^		
1	品名	1	30	(品名)		置け民会(口)	
2	消費期限	1	8	23.12.08			
3	本体価格	1	4	198		LA(U)	
4	JANコード	1	13	0200007501986		下への	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16					~		
					 T		

### 発行履歴機能



# 発行履歴機能の基本設定

# e-Labe Designer で発行履歴に出力する任意項目を設定する

任意項目はレイアウト毎に設定することが可能です。

1. プロジェクトを開き、発行履歴の任意項目を設定するレイアウトを選択します



2. データウィンドウの「発行履歴データ設定」ボタンをクリックします

データ	<b>Ļ</b>	×
レイアウト名 食品表示	?	
レイアウトNo. 11 🚖		
<b>企</b> レイアウト設定(S)		
発行履歴データ設定(H)		
条件テーブル		

3. 発行履歴に出力したい項目をリストから選択します。

lo.	履歴項目	開始桁	桁数	サンプル	^		
⊢ 1	品名 >						
2	JANコード 治費期限	1					
3	保存方法					<u> </u>	
4	本体価格					下へ(W	
5	- [祝平1: 8%]本1価格(祝込価 [税率1: 8%]本体価格(税込価						
6	社名 原材料入力						
7	税込み価格タイトル						
8							
9	表示責性者 店名						
10	店名(テーブル入力値) 住所						
11	住所(テーブル入力値)						
12	相見新政元正し						
13	(レイアウト№)						
14	(呼出しデータ名) (基準日付)						
15							
16					~		
				合計	0 桁		

# 4. すべて登録が完了したら「OK」をクリックします

No.	雇應項目	問始が行	お行業サ	₩\/プル	^	
1	品名	1	30	(品名)		置118全(1)
2	消費期限	1	8	23.12.08		HJBW/F
3	本体価格	1	4	198		上へ(L
4	JANコード	1	13	0200007501986		下六角
5						1.54
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16					~	

フォーマットを出力し、発行端末にセットしてください。

## e-Labe Print で発行履歴の出力設定をオンにする

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



2.	三 (メニュー) をタ	ップします。				
	                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>					
	<u>注意</u> 発行画面では	(メニュー) は表示さ	ಗಿ ಕ ಲ ನಿ	をタップして前の	画面に戻ってくだ	さい。

3. [
登設定]をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [発行履歴設定] をタップします。



5. [発行履歴出力設定]をタップします。



6. 発行履歴出力設定が[使用する]が選択されていることを確認します。[使用しない]が選択されている場合は設定を変更して[OK]をタップします。

● 設定 > 発行履歴設定
発行履歴出力設定
- 1枚ずつ明細を出力
- 発行履歴の保存期間
一発行履歴出力設定
発行 ●使用する
発行 口互換形式
発行(使用しない
使用しない       発行     キャンセル OK
発行     使用しない       発行     キャンセル OK       発行完了時刻     ●
使用しない     キャンセル OK       発行     キャンセル OK       発行完了時刻     ・
使用しない       キャンセル OK         発行完了時刻       ・         発行完了枚数       ・         発行履歴表示       ・
使用しない       キャンセル OK         発行       キャンセル OK         発行完了時刻       ・         発行完了枚数       ・         発行履歴表示       ・

発行履歴機能の基本設定は以上です。

### 注意

・初期設定は[使用する]が選択されています。

・[互換形式]を有効にすると Ver.1.6.0 以前の形式の発行履歴データが出力されます。 通常選択する必要はありません。

# 発行履歴のオプション機能

● 設定 > 発行履歴設定
発行履歴出力設定
- 1枚ずつ明細を出力
- 発行履歴の保存期間
- 発行履歴のエクスポート
発行履歴フォルダをクリア
発行履歴データベースをクリア
発行履歴表示設定
発行履歴表示設定 発行完了日 ••
発行履歴表示設定         発行完了日         発行完了時刻
発行履歴表示設定         発行完了日         発行完了時刻         発行完了枚数
発行履歴表示設定         発行完了日         発行完了時刻         発行完了枚数         発行履歴表示
発行履歴表示設定         発行完了日         発行完了時刻         発行完了枚数         発行履歴表示

# [1 枚ずつ明細を出力] 初期値:オフ

[連番オブジェクト]や[リアルタイム発行機能が有効な日時オブジェクト]が含まれるラベルを発行時、発行履

歴をラベル1枚単位で記録することが可能です。

■ 0123_食品表示サンプル.log - メモ帳	_		×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)			
"2023-12-03","02:01:02","2023-12-03","02:01:07","0003","000001","000001","焼売","23.12.03","280","5	0001		$\sim$
"2023-12-03","02:01:07","2023-12-03","02:01:11","0003","000001","000001","焼売","23.12.03","280","5	0002		
"2023-12-03"."02:01:11"."2023-12-03"."02:01:15"."0003"."000001"."000001"."焼売"."23.12.03"."280"."5	0003		
"2023-12-03","02:01:15","2023-12-03","02:01:20","0003","000001","000001","焼売","23.12.03","280","5	0004		
			~
4 行、103 列 100% Windows (CRLF)	UTF-8	3	

注意

・本オプションは操作設定>枚数カウント表示機能がオンの場合に有効になります。

・上記オブジェクトが含まれないラベルの場合、本設定が有効でも発行単位で履歴が記録されます。

### [発行履歴の保存期間] 初期值:7日

⇒ 設定 > 発行履歴設定								
発行履歴出力設定								
- 1枚	- 発行履歴の保存期間 - 1材 1~365日の間で指定可能です							
- 発行								
- 発行			6 	]				
発行			8					
発行			++2	ンセル	ок			
発行								
発行	完了I	Ξ						
-	+	,	1	2	3			
*	/		4	5	6			
*	/	=	4 7	5 8	6 9			
*	/ )	-	4 7 *	5 8 0	6 9 #	0		

発行履歴データを内部データベースに保存する期間を 1~365 日の 間で指定できます。指定した期間を過ぎた発行履歴データは e-Labe Print 起動時に削除されます。

# [発行履歴のエクスポート]

内部データベースに記録された発行履歴データを発行履歴フォルダにフォーマット単位のテキストファイル 形式で出力します。

出力先:「内部共有ストレージ」>「SATO」>「Histories」フォルダ

出力ファイル名:[端末No.]_[フォーマットファイル名].log

例)端末 No.「1」、フォーマットファイル名「食品表示サンプル」→0001_食品表示サンプル.log

# [発行履歴フォルダをクリア]

発行履歴テキストファイルの保存先である発行履歴フォルダ(「内部共有ストレージ」>「SATO」>「Histories」) 内のファイルをすべて削除します。

# [発行履歴データベースをクリア]

内部データベースで記録している発行履歴データを削除します。

# 発行履歴データを取得する

発行履歴データはカンマ区切りのテキストファイルに出力して取得することができます。 USB ケーブルをパソコンに接続して手動でコピーする方法や SATO App Storage などデータ連携用サーバー にアップロードする方法について説明します。

# USB ケーブルをパソコンに接続して手動でコピーする

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2. 📃 (メニュー) をタップします。



### 注意

発行画面では = (メニュー)は表示されません。 ちをタップして前の画面に戻ってください。

# 3. [ 2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [発行履歴設定] をタップします。

5 設定	
マスター編集	
操作設定	
システム管理	
外部ストレージ連携管理	
周辺機器接続設定	
発行履歴設定	

5. [発行履歴のエクスポート]をタップします。

5	設定 > 発行履歴設定				
発行履歴出力設定					
- 1枚ずつ明細を出力 🛛 🔍 🌗					
- 発行履歴の保存期間					
- 発行履	歴のエクスポート				
発行履歴	<b>₫</b> フォルダをクリア				

6. [発行履歴をエクスポートしますか?]と確認ダイアログが表示されますので、[OK]をタップします。



- 7. パソコンと FX3-LX を USB ケーブルで接続します。
- 8. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。

ステータスバーが表示されます。



9. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。





10. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

#### 注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「フ ァイルを転送する」を選択してください。

11. コンピュータのエクスプローラから「PC」を開き、「デバイスとドライブ」>「FX3-LX-MX6DL」を ダブルクリックします。

Windows 10 を例にしています。OS によってはメニュー名が異なる場合があります。



注意

- 初めて FX3-LX をコンピュータと接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。このため、アイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックしても中身が表示されない場合は、手順8からやり直して ください。

# 12. 「内部共有ストレージ」>「SATO」>「Histories」フォルダを選びます。



注意

「SATO」>「Histories」フォルダがない場合 USB ケーブルを抜いて再度接続してください。

# 13. Histories フォルダの中にエクスポートされている発行履歴ファイルをコピーし、パソコンに貼り付け ます。

≪ 内部共有ストレージ >	SATO > Histories
名前	^
📄 0001_食品表示サン	プル.log

# データ更新機能でネットワークサーバーや USB メモリにアップロードする

データ更新機能には、発行履歴ファイルをアップロードする機能があります。この機能を使って、データ連携 先であるサーバーや、USB メモリ内に発行履歴ファイルを書き込むことが可能です。

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します

e-Labe Print 小起動しま 9	
2(メニュー) をタップします。	
= ナンバー発行	
注意	
発行画面では 📃 (メニュー) は表示さ	れません。 ちゅうして前の画面に戻ってください

# 2. [^{*}設定]をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

#### 4. 設定メニュー画面が表示されます。

5	設定
マスタ-	一編集
操作設定	Ē
システル	<b>△管理</b>
外部スト	- レージ連携管理
周辺機器	<b>居接続設定</b>
発行履歴	ž

- 5. [外部ストレージ連携管理]をタップします。
- 6. [連携対象データ]をタップします。
- 7. [発行履歴ファイル]をオンにします。

● 設定 > > 連携対象データ	ē
ダウンロード	
🕚 フォーマットファイル	
🐠 設定情報ファイル	
アップロード	
● 発行履歴ファイル	
💿 発行履歴データ(SASデータベース)	•
・ ログファイル	
バックアップデータアップロード	
🕚 マスター編集ファイル	
● 設定情報ファイル	
∧ ∨	

8. データ更新を実行して発行履歴ファイルをサーバーや USB メモリにアップロードします。

#### 注意

発行履歴ファイルはアップロード先の Histories フォルダに書き込まれます。

# [補足]発行履歴ファイルを Excel で開く方法

1. Excel を起動し、[ファイル]メニューから[開く]をクリックし、[参照]を選択します。



2. [ファイルを開く]画面でパソコンに取り込んだ発行履歴ファイルを選択し[開く]をクリックします。

#### 注意

ファイルの拡張子を[すべてのファイル(*.*)]に変更してください。

図 ファイルを開く								
$\leftarrow  \rightarrow$	◇ ↑  PC > Windows (C:) > 発行履歴フ	✓ Ŭ ,○ ∯	8行履歴ファイルの株	食索				
整理▼	新しいフォルダー			1 <b>•</b>	•			
× ^	~ 名前	更新日時	種類	サイズ				
	📄 0123_食品表示サンプル.log	2 23/12/08 11:13	テキスト ドキュメント	1 KB				
4		_						
4								
Z								
· ·	기고 / 비 夕 / \\\\- 0122 쇼 므 후 구 바\/ 기비 니~~		× #*70	ファイル. (* *)				
	ノバ1ル-白(INJ. UI23_良田衣小リノノル.log				×			
			リール(L)  ・ 開く(	(U) <b>V</b>				

### 3. [テキストファイルウィザード]が開くので以下の手順で設定を進めます。

【1/3】[元のデータの形式]が[コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ] が選択されていることを確認して[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウイザード - 1 / 3	?	$\times$
選択したデータは区切り文字で区切られています。		
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。 一元のデータの形式		
データのファイル形式を選択してください: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
取り込み開始行(R): 1 テのファイル(Q): 65001 : Unicode (UTF-8)		V
□ 先頭行をデータの見出しとして使用する(凹)		
ファイル C:¥発行履歴ファイル¥0123_食品表示サンプル.log のプレビュー		
1 ^{"2023-12-08"} , "10:56:05", "2023-12-08", "10:56:13", "0103", "000005", "000005", "焼売", "23.12.09", "3 2 ^{"2023-12-08"} , "11:12:54", "2023-12-08", "11:13:01", "0103", "000005", "000005", "焼売", "23.12.09", "3 3 ^{"2023-12-08"} , "11:13:07", "2023-12-08", "11:13:13", "0104", "000004", "000004", "肉餃子", "23.12.09", 4 ["] 2023-12-08", "11:13:21", "2023-12-08", "11:13:30", "0102", "000006", "000006", "天ぷら", "23.12.09", 5 6 7	98″,″023 98″,″023 ″240″,″0 ″398″,″0	30 <b>^</b> 30 <b>1</b> 12 12 22 <b>~</b>
<b>キャンセル</b> < 戻る(B) 次へ(N) >	完了(	E)

#### 【2/3】[区切り文字]の[コンマ]にチェックをいれて[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3	?	×
フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。		
区切り文字		
✓ タブ(I) □ セミコロン(M) 連続した区切り文字は1文字として扱う(R)		
✓ コンマ(C)		
□ その他( <u>Q</u> ):		
データのプレビュー( <u>P</u> )		
2023-12-08 10:56:05 2023-12-08 10:56:13 0103 000005 000005 焼売 23.12.09 398 0230002703986 2023-12-08 11:12:54 2023-12-08 11:13:01 0103 000005 000005 焼売 23.12.09 398 0230002703986		^
2023-12-08  11:13:07 2023-12-08  11:13:13 0104 000004 000004 肉餃子 23.12.09 240 0230003802404 2023-12-08  11:13:21 2023-12-08  11:13:30 0102 000006 000006 天ぶら 23.12.09 398 0230001703987		
		~
	>	
キャンセル < 戻る(旦) 次へ(N) >	完了( <u>F</u>	)

【3/3】必要に応じて列(項目)を選択し、[列のデータ形式]を変更します。変更ができたら[完了]をクリックします。

#### 注意

JAN コードなどバーコードの値はデータ形式を[文字列]にしてください。([G/標準]のままだと Excel 取り込み時、指数形式に変換され正しい表記になりません)

テキスト ファイル ウイザード - 3 / 3	?	×
区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。		
列のデータ形式 ○ G/標準(G) ◎ 文字列(T) ○ 日付(D): YMD ~ ○ 削除する(I)  [G/標準]を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列 す。  正初( <u>A</u> )	判に変換	iant
データのプレビュー( <u>P</u> )		
G/標準 G/標準 G/標準 G/標準 G/標準 G/標準 G/標準 G/標準		
2023-12-08 10:56:05 2023-12-08 10:56:13 0103 000005 000005 000005 023.12.09 398 0230002703986 2023-12-08 11:12:54 2023-12-08 11:13:01 0103 000005 000005 000005 焼売 23.12.09 398 0230002703986 2023-12-08 11:13:07 2023-12-08 11:13:13 0104 000004 000004 肉餃子 23.12.09 240 0230003802404 2023-12-08 11:13:21 2023-12-08 11:13:30 0102 000006 000006 天ぶら 23.12.09 398	,	
キャンセル < 戻る( <u>B</u> ) 次へ(N) >	完了( <u>F</u>	E)

#### 4. Excel で発行履歴データが表示されます。

	А	В	С	D	Е	F	G	Н	I	J	K
1	2023/12/8	10:56:05	2023/12/8	10:56:13	103	5	5	焼売	23.12.09	398	0230002703986
2	2023/12/8	11:12:54	2023/12/8	11:13:01	103	5	5	焼売	23.12.09	398	0230002703986
3	2023/12/8	11:13:07	2023/12/8	11:13:13	104	4	4	肉餃子	23.12.09	240	0230003802404
4	2023/12/8	11:13:21	2023/12/8	11:13:30	102	6	6	天ぷら	23.12.09	398	0230001703987
5											

#### 注意

Excel の詳細な操作方法についてはお答えいたしかねます。予めご了承ください。

# e-Labe Print の発行履歴表示機能を利用する

e-Labe Print で発行履歴の確認がおこなえます。検索ウィンドウでキーワードによる簡易的な検索も可能です。

### 注意

- ・ 表示できる履歴は e-Labe Print Ver.1.7.0 以上で出力した発行履歴のみです。Ver.1.7.0 以上 でも「互換形式」がオンになっている場合は表示できません。
- ・ 検索の対象は「任意の履歴項目」です。任意項目の設定方法は Designer 操作マニュアルを参照 してください。

#### 発行履歴表示画面で履歴を閲覧する

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



2. 📃 (メニュー)をタップします。

	ナンバー発行	
<		$\rightarrow$
注音		

発行画面では = (メニュー)は表示されません。 ち をタップして前の画面に戻ってください。

#### 

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

#### 4. 設定メニュー画面で [発行履歴設定] をタップします。



注意

システム管理>メニューカスタマイズの設定で[発行履歴表示]を[オン]にすることでドロワーメニュ ーから表示することも可能です。



5.

[発行履歴表示] をタップします。							
	⇒ 設定 > 発行履歴設定						
	発行履歴出力設定						
	- 1枚ずつ明細を出力						
	- 発行履	歴の保存期間					
	- 発行履	歴のエクスポート					
	発行履歴フォルダをクリア						
	発行履歴データベースをクリア						
	発行履歴	表示設定					
	発行完了	Έ	•				
	発行完了	'時刻	•				
	発行完了	'枚数	•				
	発行履歴	表示					

6. 選択中のフォーマットの発行履歴が表示されます。



#### 発行履歴表示画面の説明



[0113]フルーツサンド				
発行指示日	2021-12-05			
発行指示時刻	14:13:25			
発行指示枚数	000004			
品名	フルーツサンド			
消費期限	21.12. 6			
[税率1: 8%]価格 1(税込価格)	486			
バーコード	2055678900983			
	閉じる			

番号	機能名	説明			
1	フォーマット選択項目	選択したフォーマットの発行履歴が表示されます。			
2	検索ウィンドウ	入力した値が含まれる行を絞り込んで表示します。			
		入力した値の検索対象は「任意の履歴項目」です。固定の			
		履歴項目である「発行指示日」「発行指示時間」「発行指示			
		枚数」「発行完了日」「発行完了時間」「呼出し No.」「呼出し			
		名」の値は検索対象外です。			
		[ <mark>×</mark> ]検索ウィンドウの値をクリアし、一覧を初期化しま			
		す。			
		[ <mark>♀</mark> ]入力した値で絞り込みをおこないます。			
		※検索キーの注意事項			
		「英数カナ」・・・全半角を区別しません			
		「記号」・・・全半角を区別します			
		例)「アップル」と入力時「アップル」「アップル」双方検索可			
		全角「%」入力時、半角「%」は検索不可			
		アルファベットの大文字/小文字は区別します			
3	発行履歴表示欄	発行日単位で表示されます。			
		明細行は上段に「発行指示時間」「呼出し No.」「呼出し名」			
		「発行指示枚数」、下段に任意の履歴項目が表示されます。			
		※「呼出し名」は Ver.1.10 以上で出力した履歴データで表			
		示可能です。			
4	ページ送りボタン	前ページ、次ページにページを送ります。長押しすると1			
		つ前(または次)の発行日までページを送ります。			

### 発行履歴機能

5	詳細表示画面	明細行をタップすると履歴情報の詳細を確認できます。画			
		面上で上下にスワイプすることで、画面をスクロール可能			
		です。			

# SATO App Storage の発行履歴管理機能を利用する

SATO App Storage の発行履歴データベースに履歴データをアップロードすることで、SATO App Storage のWeb 画面で履歴データを閲覧することができます。

#### 利用条件

[e-Labe Print]

・バージョン:1.7.0以上

・設定>発行履歴設定>発行履歴出力設定>互換形式:オフ

[SATO App Storage]

・契約プラン:「配信・履歴プラン」または「マスタメンテナンスプラン」

※ファイル配信プランでは利用不可

[FLEQV FX3-LX]

・ファームバージョン: JP.0.4.2-013 以上

・SatoSettings>システム> SATO App Storage の接続情報、「プッシュ通知を受信する:オン」 ※FLEQV FX3-LX 以外の場合、e-Labe 専用タブレットに「SATO App Storage Bridge」ソフトを インストールの上、上記接続情報、プッシュ通知の設定が必要

注意

・「発行完了日」「発行完了時刻」「発行完了枚数」項目は、SATO App Storage 発行履歴データベースにはアップロードされません。

# 発行履歴を SATO App Storage にアップロードする

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。

SOS Agent	SatoSettings
アップデータ	SatoControl
	e-Labe Print SATO e-Labe Print

2. 📃 (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では 三 (メニュー)は表示されません。 ち をタップして前の画面に戻ってください。

3. [ 2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。 4. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



5. [連携対象データ]を開き、[アップロード]項目の[発行履歴データ(SAS データベース)]をオンにしま



# 6. データ更新を実行し、SATO App Storage に履歴データをアップロードします。

e-Labe
更新確認が完了しました
更新チェック日時 2024/08/07 11:46:16
ダウンロードは終了しました。
アップロードを開始します。 SAS APIでの発行履歴アップロードを開始しま す。 アップロードは終了しました
同期完了をファイルで通知しています。
ОК
同期結果

<よくあるエラー>

・「データの更新に失敗しました SAS API で発行履歴をアップロードできない契約です。」 →SATO App Storage の契約プランを確認してください。

・「データの更新に失敗しました SAS API で発行履歴のアップロードに失敗しました。」

→SATO App Storage 設定画面で「プッシュ通知を受信する」 がオンになっているか確認してくださ

い。

-								
● N 中 晶 sos         \$ ⇔ № ≜ 11:28								
$\leftarrow$	← SATO App Storage							
会社ID			S. State					
ログイン	ID							
パスワー	4		••••	••••				
				文字を表示する				
プッシュ	プッシュ通知を受信する							
				適用				
€	@/ 1		DEF 3	×				
4	GHI 4	JKL	MNO	Þ				
?123 😳	PQRS	TUV 8	WXYZ	<u> </u>				
ља	a⇔A	'":; 0	.,?!	→				
	$\bigtriangledown$	0						

# 発行履歴を SATO App Storage の Web 画面で閲覧する

1. SATO App Storage のページ(<u>https://sato-app-storage.com</u>)にアクセスし、会社 ID、ログイ ン ID、パスワードを入力の上、ログインします。



2. 左側メニューの[端末・発行履歴]を選択し、[>>発行履歴を検索する]を選択します。



# 3. [検索する]をクリックします。

		☐ 45.6MB/100MB 45.5%						
	)							
SATO App Sto	rage	<b>E 5</b> ^	い光行履歴を	検索する				
鈴 グループ・アカ・	ウント	a	検索条件名					
800 - <i>C</i> U			進択してくたさい	·				
ℤЩ ファイル		検索条件を入力	検索条件一覧を表示	_				
🔋 プラン			<b>グループ名</b> グループ名を入力		クインID ログインIDを入力			
			プリンタS/N	y:	フト名			
🖳 端末・発行履歴			SINを入力 ソフトウェアを入力					
>> ダウンロード状況			ラベルレイアウト					
<ul> <li>※発行履歴を検索する</li> <li>※発行履歴を検索する</li> </ul>	ドナフ		ラベルレイアウトを入力					
<ul> <li>※ 発行履歴でダリンロー</li> <li>※ 発行履歴アップロード</li> </ul>	- ト 9 る ⁵ 状況			: 00 • ~ VVVV MM		v		
▲ 言語			「削除済み」を今む		00 •.00	•		
日本語(ia)	~							
			屆歷項目					
くサイドメニューを接納			+ 検索項目を追加		7			
			検索条件をクリア	検索する	検索条件を保存す	る表示項目設定		
				• • •				
Q	検索	陰結果 10 件のうち 1 ~	10 件を表示 表示件数	t 10 <b>50</b> 100				
検索結果	惑信							
	元1.	M復歴11致、10						
	мена	E761]#04X3X. 41						
	チェ	ックした履歴を	削除	CSVタウンロー	· F			
		ラベル発行日	ラベル印刷枚数	バーコード	品名	[税率1:8%]本体価格(税込価格)	消費期限	
		2024-08-07 11:44:54	.280 3	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8	
		2024-08-07 11:11:57	.316 3	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9	
		2024-08-07 10:43:54	.503 3	2055678900983	カツサンド	495	24. 8. 8	
		2024-08-07 10:43:46	.596 5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9	
		2024-08-07 10:43:35	.824 6	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8	
		2024-08-07 10:43:26	.070 4	2065678900982	フルーツサンド	495	24. 8. 8	
		2024-08-05 12:52:04	.961 4	2065678900982	フルーツサンド	495	24. 8. 6	
		2024-08-05 12:51:54	.168 5	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 6	
		2024-08-05 12:51:45	.322 3	2055678900983	カツサンド	495	24. 8. 6	
		2024-08-05 12:51:34	.891 5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 7	
		ラベル発行日	ラベル印刷枚数	パーコード	品名	[税率1:8%]本体価格(税込価格)	消費期限	
			XIIIA		IS .			
	ナエ	-ックしに腹腔を	削际					

### 発行履歴機能

屆歷項目						
× 消費期限 ▼ 2024-08-07 mm 00 ▼ : 00 ▼ 以降 ▼						
+ 検索項目を追加						
検索条件をクリア 検索する 検索条件を保存する 表示項目設定						

ラベル発行日	ラベル印刷枚数 ▼	パーコード	品名	[税率1:8%]本体価格(税込価格)	消費期限
2024-08-07 11:44:54.280	3	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8
2024-08-07 11:11:57.316	3	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9
2024-08-07 10:43:54.503	3	2055678900983	カツサンド	495	24. 8. 8
2024-08-07 10:43:46.596	5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9
2024-08-07 10:43:35.824	6	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8
2024-08-07 10:43:26.070	4	2065678900982	フルーツサンド	495	24. 8. 8
2024-08-05 12:51:34.891	5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 7

### √現在日時から超過している日付は赤字で表示されるため、期限切れの商品の確認が可能です。

)	消費期限
	24. 8. 8
	24. 8. 9
	24. 8. 8
	24. 8. 9
	24. 8. 8
	24. 8. 8
ſ	24. 8. 7

SATO App Storage の詳細については、Web 画面下部に掲載している操作マニュアルをご参照ください。

● 言語			
日本語(ja) ~			
<u>く サイドメニューを格納</u>			
	利用規約	<u>プライバシーポリシー</u>	操作マニュアル

# [付録]印字中止時の発行履歴データについて

e-Labe で発行中に[印字中止]操作をした場合の発行履歴データおよび連番保存値についてまとめた一覧です。 【連番および日時(リアルタイム発行が有効)のどちらも未使用の場合】

条件	履歴明細 設定	発行中の[印字中止]時の発行履歴および連番保存値
枚数カウント表示オン	明細あり ※設定しても明 細なしで記録し ます 明細なし	【発行履歴】コマンドを送信したら発行履歴を出力します。 [発行完了枚数]に、発行確認が取れた枚数を表示します。
枚数カウント表示オフ	明細なし	【発行履歴】コマンドを送信したら発行履歴を出力します。

#### 【連番を使用している場合】

条件	履歴明細 設定	発行中の[印字中止]時の発行履歴および連番保存値				
	明細あり	【発行履歴】発行確認が取れた枚数分、発行履歴の明細行を出力します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。				
枚数カウント表示オン	明細なし	【発行履歴】1 枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 [発行 完了枚数]に、発行確認が取れた枚数を表示します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。				
枚数カウント表示オフ	明細なし	【発行履歴】1 枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 【連番保存値】発行指示枚数分カウントアップします。				

#### 【日時(リアルタイム発行が有効)を使用している場合】

条件	履歴明細 設定	発行中の[印字中止]時の発行履歴および連番保存値
枚数カウント表示オン	明細あり	【発行履歴】発行確認が取れた枚数分、発行履歴の明細行を出力します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。
	明細なし	【発行履歴】1 枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 [発行完了枚数]に、発行確認が取れた枚数を表示します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。
枚数カウント表示オフ※	明細なし	

※枚数カウント表示がオフの場合でも、枚数カウント表示オン+明細なしと同じ出力結果になります。
## e-Labe Print のバックアップと復元

e-Labe Print の環境を USB ストレージにバックアップ/復元が可能です。 バックアップは FX3-LX の内部共有ストレージ> SATO フォルダを丸ごと保存します。 復元は、USB ストレージ内のバックアップ用フォルダから「FormatFiles」「LocalTables」「Settings」データ を反映します。復元をおこなうと、復元前のデータはすべて削除されます。 また、「バックアップ世代数設定」で保管するバックアップ数を 1~9世代の間で指定できます。

### バックアップ世代数を設定する

- 1. 📃 (メニュー)をタップします。
- 2. [ 2. [ 2. ] ション ( 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ] 2. [ 2. ]

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

3. 設定メニュー画面で [システム管理] をタップします。

5 設定
マスター編集
操作設定
システム管理
外部ストレージ連携管理
周辺機器接続設定
発行履歴設定

4. [バックアップ世代数の設定]をタップします。

● 設定 > システム管理
日付加算の上限下限チェック
基準日付変更の上限下限チェック
ログ出力レベルの指定
ログ表示
出力先設定
プロキシ設定
Fl212T形式でFTPダウンロードを実行 🏾 🔍
- FI212Tデータ連携フォーマット名
最大桁以上の値を切り捨てて更新 🍡 🔍
バックアップと復元
バックアップ世代数の設定
USBストレージにバックアップ
USBストレージから復元

### 5. 保管するバックアップ世代数を設定します。

1~9世代の間で設定可能です。初期値は3世代です。

「USB ストレージにバックアップ」およびデータ更新による自動バックアックアップ時に有効です。

5 3	定 > システム管	<b></b> 雪理		
日付加算の」	こ限下限チェック			
^{基準} バック	アップ世代数の詞	設定		-0
ログ	2			
ログ	世1	t		
出力	4	<del>7</del> 11.	OK	
プロキシ設定	E	270	UN	
FI212T形式7	でFTPダウンロー	ドを写	見行	٠
FI212T形式で - FI212Tデー	<b>でFTPダウンロー</b> タ連携フォーマッ	ドを写 ソト名	「「「」	•
FI212T形式で - FI212Tデー - + ,	<b>でFTPダウンロー</b> タ連携フォーマッ 1	ドを写 ット名 2	€行 3	•
FI212T形式で - FI212Tデー - + , * / .	でFTPダウンロー タ連携フォーマッ 1 4	ドを写 ット名 2 5	E行 3 6	•
FI212T形式で - FI212Tデー - + , * / . ( ) =	CFTPダウンロー タ連携フォーマッ 1 4 7	ドを シトネ 2 5 8	€行 3 6 9	•
FI212T形式で - FI212Tデー - + , * / . ( ) =	CFTPダウンロー <u>タ連携フォーマッ</u> 1 4 7 *	ドを写 2 5 8 0	€行 3 6 9 #	•

## USB ストレージにバックアップする

1. USB メモリを FX3-LX の USB ポートに接続します。



#### 注意

USB メモリはあらかじめファイルシステムを「FAT32」でフォーマットしておきます。 詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

USBメモリの準備をおこなう

## 2. (メニュー)をタップします。

### 3. [ 2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

#### 4. 設定メニュー画面で [システム管理] をタップします。



5. [USB ストレージにバックアップ]をタップします。

● 設定 > システム管理
日付加算の上限下限チェック
基準日付変更の上限下限チェック
ログ出力レベルの指定
ログ表示
出力先設定
プロキシ設定
Fl212T形式でFTPダウンロードを実行 🌕
- FI212Tデータ連携フォーマット名
最大桁以上の値を切り捨てて更新 🍡 🔍
バックアップと復元
バックアップ世代数の設定
USBストレージにバックアップ
USBストレージから復元

6. [OK] をタップしてバックアップを実行します。

コメントを入力すると、復元時フォルダー覧にコメントが表示されます。

	e-La	be	
	USBストレージ バックアップで	ヅに を行います	
JXI	ント:		
更新前	<u>j</u> バックアップ		
	ОК		
できるか	、 が 。 フ	アイル 🤃 !	?   ~
から	してした	ください か	し
€	いあぇ きかい	ナ しさせ そ	
4	ちたて にない	っ ぃぱへ ぽ	Þ
?123 😳	みまめ (や	) 05n	<u> </u>
あっ	€ *h		0
	~ ▽ 0		

7. バックアップデータの保存が完了したら[OK]をタップします。

### USB ストレージから復元する

1. USB メモリを FX3-LX の USB ポートに接続します。



#### 注意

USB メモリはあらかじめファイルシステムを「FAT32」でフォーマットしておきます。 詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

USBメモリの準備をおこなう

## 2. (メニュー)をタップします。

### 3. [ 2 設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。 設定メニュー画面が開きます。

#### 4. 設定メニュー画面で [システム管理] をタップします。



5. [USB ストレージから復元]をタップします。

● 設定 > システム管理
日付加算の上限下限チェック
基準日付変更の上限下限チェック
ログ出力レベルの指定
ログ表示
出力先設定
プロキシ設定
Fl212T形式でFTPダウンロードを実行 🛛 💿
- Fl212Tデータ連携フォーマット名
最大桁以上の値を切り捨てて更新 💿
バックアップと復元
バックアップ世代数の設定
USBストレージにバックアップ
USBストレージから復元

6. [復元する端末名を選択]のリストをタップして復元したい端末を選択します。

<b>C-LGbC</b> USBストレージから バックアップデータを復元します
復元する端末名を選択
0064-FX3-LX DT305-Ad-FM111111
0122-FX3-LX DT305-Ad-FM222222
2022040E 101901
[更新前バックアップ]
20220405-101001           「更新前バックアップ]         復元対象ファイル
20220405101001     (更新前バックアップ)       復元対象ファイル     FormatFiles
20220405101801 (更新前バックアップ) 復元対象ファイル ■ FormatFiles ■ LocalTables
20220405101001 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル [©] FormatFiles [©] LocalTables [©] Settings
20220405-101601 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル [©] FormatFiles [©] LocalTables [©] Settings [©] e-Labe関連フォルダ削除後に復元する
20220405-101801 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル [©] FormatFiles [©] LocalTables [©] Settings [©] e-Labe関連フォルダ削除後に復元する OK

#### 注意

端末名は [(端末 No.) - (機種名) - (シリアル No.)] で表示されます。

7. [復元するバックアップフォルダを選択]のリストをタップして日時ごとのバックアップデータから復 元したいフォルダを選択します。

USB ストレージにバックアップ時に「コメント」を入力していると、リストの日時フォルダ名の下に表示されます。

e-Labe
USBストレージから バックアップデータを復元します
復元する端末名を選択
0064-FX3-LX DT305-Ad-FM111111
復元するバックアップフォルダを選択
<b>20220405-101801</b> [更新前バックアップ]
<b>20220405-095506</b> [4/5]
20220401-214105
Settings
☑ e-Labe関連フォルダ削除後に復元する
ОК
キャンセル

8. [復元対象ファイル]を選択します。

初期値は全ファイルが復元対象となっています。

e-Labe
USBストレージから バックアップデータを復元します
復元する端末名を選択
後元するバックアップフォルダを選択
<b>20220405-101801</b> [更新前バックアップ]
20220405-101801 [更新前バックアップ]     ✓       復元対象ファイル
20220405-101801 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル ☑ FormatFiles
20220405-101801 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル ☑ FormatFiles ☑ LocalTables
20220405-101801 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル [©] FormatFiles [©] LocalTables [©] Settings
20220405-101801 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル ² FormatFiles ² LocalTables ² Settings ³ e-Labe関連フォルダ削除後に復元する
20220405-101801 [更新前バックアップ] 復元対象ファイル [©] FormatFiles [©] LocalTables [©] Settings [©] e-Labe関連フォルダ削除後に復元する OK

#### 9. [e-Labe 関連フォルダ削除後に復元する]を指定します。

初期値はオンになっています。

オフにした場合、復元対象で選択したフォルダ以外のデータは削除されずに残ります。

USBスト バックア	- <b>Labe</b> レージから ップデータを復元しま	ます
復元する端末	名を選択	
0064-FX3-LX	DT305-Ad-FM111111	$\sim$
復元するバッ	クアップフォルダを選	鈬
<b>20220405-1</b> [更新前バックア	<b>01801</b> ップ]	$\sim$
復元対象ファ	イル	
FormatFiles	S	
LocalTable	s	
Settings		
☑ e-Labe関連	フォルダ削除後に復分	元する
	ОК	
	キャンセル	

#### 注意

- チェックをオフにした場合、フォルダによって復元前のデータと復元後のデータが混在するため フォーマットファイルとマスターデータの不整合などが発生する可能性があります。
   復元後に必ず動作を確認してください。
- ・ e-Labe 関連フォルダとは以下のフォルダを指します。
  - FI212TData
  - FormatFiles
  - Histories
  - LocalTables
  - Logs
  - Settings
- 10. [OK] をタップして復元を実行します。

e-Labe
USBストレージから バックアップデータを復元します
復元する端末名を選択
0064-FX3-LX DT305-Ad-FM111111
復元するバックアップフォルダを選択
<b>20220405-101801</b> 「更新前バックアップ】
復元対象ファイル
FormatFiles
LocalTables
Settings
ОК
キャンセル

### 11. 復元が完了したら [OK] をタップします。

OK をすると e-Labe Print は自動的に再起動し復元データを反映します。

## e-Labe Printの設定メニュー

設定メニューを使用して、e-Labe Printの各種設定をおこないます。

### 設定メニューを表示する

- 1. (メニュー)をタップします。
- [[•] 設定]をタップします。



3. 設定メニュー画面が表示されます。

⇒設定	
マスター編集	
操作設定	
システム管理	
外部ストレージ連携管理	
周辺機器接続設定	
発行履歴設定	
 注意	
· 発行画面では (メニュー) (;	ま表示されません。 ちをタップして前の画面に戻って
さい。	

## マスター編集

メニュー	詳細	初期値
端末 No.	端末 No.を設定します。	0
	設定した桁数より大きい値は入力できません。	
- 桁数	端末 No.の桁数を 4~6 桁で設定します。	4
店名テーブル(0番)	店名テーブルに0番を入力時に参照する店舗情報を登録	えします。
	店名	-
	店名を設定します。(最大桁数 60 桁)	
	住所	-
	住所を設定します。(最大桁数 100 桁)	
	電話番号	-
	電話番号を設定します。(最大桁数 80 桁)	
	メモ	_
	メモを設定します。(最大桁数 80 桁)	
[フォーマット別マスタ-	-編集]	
フォーマット選択	マスター編集を行う PRO 形式のフォーマットを選択し	ドロワーメニューで
	ます。	選択しているフォー
	※[外部ストレージ連携]がオフの場合に有効です。	マット
呼出しテーブル	選択したフォーマットの呼出しテーブルデータの「新	_
	規登録」「コピーして新規登録」「変更」「削除」が可能	
	です。	
漢字テーブル	選択したフォーマットの漢字テーブルデータの「新規	_
	登録」「コピーして新規登録」「変更」「削除」が可能で	
	す。	
	※漢字テーブルの追加、削除はできません。	
店名テーブル	選択したフォーマットの店名テーブルデータの「新規	-
	登録」「コピーして新規登録」「変更」「削除」が可能で	
	す。	
	※店名テーブルの追加、削除はできません。	
マスターファイル削除	フォーマット単位でマスター編集データの削除が可能	-
	です。	

### 操作設定

メニュー	詳細	初期値
アイテム選択、入力完	即時発行を使用するか設定します。	オフ
了時に即時発行	オン	
	アイテム選択と同時にラベル発行します。	
	[入力項目を順次表示]がオンの場合は、最後	
	の入力画面を確定するとラベル発行します。	
	オフ	
	即時発行を使用しません。	
- 発行前に確認画面を	即時発行前に確認画面を表示するか設定します。	オフ
表示	[アイテム選択、入力完了時に即時発行]がオンの場合に	
	有効です。	
入力項目を順次表示	アイテム選択後の発行操作を設定します。	オフ
	オン	
	入力画面を順番に表示します。すべての入力	
	画面を確定すると、発行画面を表示します。	
	オフ	
	アイテム選択後に発行画面を表示します。	
- レイアウト選択画面	順次入力時レイアウト切り替え用のボタンを表示しま	オフ
をスキップ	す。表示されるタイミングは最初の入力項目です。	
	[入力項目を順次表示]がオンの場合に有効です。	
発行後の戻り先を指定	ラベル発行後の動作を設定します。	アイテム選択画面
	アイテム選択画面	
	アイテム選択画面に戻ります。	
	発行画面	
	発行画面に戻ります。	
	※[アイテム選択、入力完了時に即時発行]が	
	ンの場合は表示されません。	
	順次入力の先頭画面	
	最初の入力画面に戻ります。	
	※[入力項目を順次表示]がオンの場合のみ表	
	示されます。	

- 発行後に編集データ	アイテム選択画面に戻るときに確認画面を表示するか	オン
の破棄を確認	を設定します。[発行後の戻り先を指定]が[発行画面]の	
	場合に有効です。	
発行枚数キーボードの	発行枚数入力用のテンキー表示を設定します。	オン
デフォルト表示	オン	
	テンキーを表示します。	
	オフ	
	テンキーを表示しません。発行枚数をタップ	
	するとテンキーを表示します。	
SATO Control 条件表	SATO Control を発行枚数に合わせて表示するかどう	オフ
示	かを設定します。	
	オン	
	[表示条件]で指定した発行枚数以上の場合に	
	SATO Control を表示します。 <mark>※</mark>	
	オフ	
	SATO Control の動作に従います。	
	※本機能を使用するには、SATO Control 設定で[表	
	示]設定を[マニュアル]にする必要があります。	
	表示 ・ マニュアル	
	<ul> <li>         第に表示         イベント表示     </li> </ul>	
	*+>>セル	
- 表示条件	SATO Control を表示させる発行枚数を 1~9999 から	2
	指定します。[SATO Control 条件表示]がオンの場合に	
	有効です。	
- 発行後に閉じる	発行後に SATO Control を閉じるかどうかを設定しま	オフ
	す。[SATO Control条件表示]がオンの場合に有効です。	
SATO Control のショ	画面右上に SATO Control のショートカットを表示す	オフ
ートカット表示	るかどうかを設定します。	
枚数カウント表示	ラベル発行中、残発行枚数を画面に表示するかどうか	オフ
	を設定します。	
	オン	
	発行中に残発行枚数を表示します。	
	オフ	
	発行中のメッセージのみを表示します。	

基準日付の一時変更許	発行画面に表示される基準日付の一時変更を許可する	オフ
可	かどうかを設定します。	
- 一時変更用パスワー	基準日付変更時のパスワードを設定します。	-
ド	[基準日付の一時変更許可]がオンの場合に有効です。	
- 一時変更の保持期間	変更した基準日付を保持する期間を設定します。	1 アイテムのみ
	[基準日付の一時変更許可]がオンの場合に有効です。	
	1 アイテムのみ	
	該当のアイテムを選択している間、一時変更	
	した基準日付を保持します。	
	電源を切るまで	
	FLEQV FX3-LX の電源を切るまでの間、一時	
	変更した基準日付を保持します。	
グループの絞り込み方	グループ発行画面での絞り込み方法を設定します。	ドロップダウン選択
法	ドロップダウン選択	
	ドロップダウンリストから選択します。	
	順次選択	
	順次選択します。	
漢字テーブルの表示形	漢字テーブルの選択方法を設定します。	一覧
式	一覧	
	一覧から項目を選びます。	
	番号入力	
	番号を入力して項目を選びます。	
グラフィックテーブル	グラフィックテーブルの選択方法を設定します。	アイコン
の表示形式	アイコン	
	アイコンから項目を選びます。	
	一覧	
	一覧から項目を選びます。	
	番号入力	
	番号を入力して項目を選びます。	
価格項目の未入力許可	価格項目の入力時、未入力を許可するかどうかを設定	オフ
	します。	

税設定	消費税計算の参照先を設定します。	フォーマット設定値
	フォーマット設定値	
	フォーマットファイルの設定を使用します。	
	本体設定値	
	e-Labe Print の設定を使用します。	
- 税率1	税率1の値を設定します。	10%
	[税設定]が[本体設定値]の場合に有効です。	
- 税率2	税率2の値を設定します。	8%
	[税設定]が[本体設定値]の場合に有効です。	
- 端数処理	端数処理を設定します。	四捨五入
	[税設定]が[本体設定値]の場合に有効です。	
	切り捨て	
	消費税計算の端数を切り捨てます。	
	切り上げ	
	消費税計算の端数を切り上げます。	
	四捨五入	
	消費税計算の端数を四捨五入します。	
プレビュー機能を使用	プレビュー機能を使用するかどうかを設定します。発	オン
	行画面にプレビューボタンが表示されます。	
- デフォルトでプレビ	アイテム選択と同時にプレビューを行うか設定しま	オフ
ユー画面を表示	す。	
	オン	
	プレビュー画面を表示します。 <mark>※</mark>	
	オフ	
	発行画面を表示します。	
	※入力項目にエラーがある(ex.入力必須に対して初期	
	値が空)場合、プレビューに失敗します。	
- デフォルトの表示サ	プレビュー表示時の初期サイズを指定します。	原寸大で表示
イズ	原寸大で表示	
	原寸大で表示します。	
	画面横幅に合わせて表示	
	画面の横幅に合わせて表示します。	
	画面高さに合わせて表示	
	画面の高さに合わせて表示します。	

プレビューの表示方向を反時計回りの角度で指定しま	0度
す。レイアウトの用紙回転方向と合わせると e-Labe	
Designer と同じ向きで表示できます。レイアウトの頭	
出し/尻出しは考慮しません。	
0度 1	
用紙回転が 0°のレイアウトに使用します。	
90度 ————————————————————————————————————	
┣━━━━━┛ 用紙回転が 90°のレイアウトに使用します。	
180度 🔲	
┃━━━━━ 用紙回転が 180°のレイアウトに使用します。	
270度	
■単回転が2700のレイアウトに使用します。	
	 オン
<b>オン</b>	
呼出し No.+呼出し名で表示します。	
<b>オフ</b>	
呼出し名のみ表示します。	
呼出しデータ名の表示サイズを指定します。	標準
<b>標準</b> 0204 洋風幕の内弁当	
標準サイズで表示します。	
大 0204 洋風幕の内弁当	
標準サイズの約 1.2 倍で表示します。	
※呼出し No.を表示する場合、呼出し名の桁	
数によっては途切れる場合があります	
特本 0204 洋風幕の内弁当	
標準サイズの約 1.8 倍で表示します。	
※呼出し名の桁数によっては途切れる場合が	
あります	
	<ul> <li>プレビューの表示方向を反時計回りの角度で指定します。レイアウトの用紙回転方向と合わせると e-Labe Designer と同じ向きで表示できます。レイアウトの頭出し/尻出しは考慮しません。</li> <li>0度              田紙回転が 0°のレイアウトに使用します。      </li> <li>90度             田紙回転が 180°のレイアウトに使用します。         </li> <li>180度             田紙回転が 180°のレイアウトに使用します。         </li> <li>270度             エー・         </li> <li>用紙回転が 270°のレイアウトに使用します。         </li> <li>180度             田低回転が 180°のレイアウトに使用します。         </li> <li>180度             田低回転が 270°のレイアウトに使用します。         </li> <li>180度             田低回転が 270°のレイアウトに使用します。         </li> <li>180度             田低回転が 270°のレイアウトに使用します。         </li> <li>180度             田低回転が 180°のレイアウトに使用します。         </li> <li>第出しデータ名の表示形式を設定します。         </li> <li>オン             野出し No. + 呼出し名で表示します。         </li> <li>70204 洋風幕の内弁当         </li> <li>標準サイズで表示します。         </li> <li>※呼出し No.を表示する場合、呼出し名の術         <ul>             Bultered (A)</ul></li>             PUL A)             PUL A) </ul>

アイテム選択情報を保	発行画面からアイテム選択画面に戻るとき、最後に選	オフ
持しない	択したアイテムの位置を記憶するかどうか設定しま	
	す。	
	オン	
	アイテムの位置を記憶せず、先頭のページに	
	戻ります。	
	オフ	
	アイテムの位置を記憶し、最後に選択したア	
	イテムのページに戻ります。	
発話機能設定	※Ver.1.16.0 以降、e-Labe Designer で発話設定を	オフ
	したフォーマットを選択時、本設定は動作しません。	
	アイテム選択時や発行指示時に指定の言葉を発話させ	
	るかどうか設定します。	
	「#呼出し名#」・・・アイテムの呼出し名	
	「#発行枚数#」・・・発行枚数	
	アイテム確定時	
	アイテム確定時に発話します。	
	アイテム確定時の発話内容	
	発話させる内容を入力します。初期値は「#呼	
	出し名#選択」を読み上げます。	
	発行指示時	
	発行指示時に発話します。	
	発行指示時の発話内容	
	発話させる内容を入力します。初期値は「#呼	
	出し名#を#発行枚数#枚発行します」を読み	
	上げます。	
	ハクリ操作時	
	プリンタがハクリモードまたはノンセパカッ	
	タモードのとき、発行されたラベルを取った	
	際に発話します。	
	※ハクリ操作時に発話するためには操作設定の「枚数	
	カウント表示」の設定を有効にする必要があります	
	ハクリ操作時の発話内容	
	発話させる内容を入力します。初期値は「#呼	
	出し名#」を読み上げます。	

ハクリ操作時発話抑制	最後にハクリ操作による音声発話をしてから、指定秒	0秒
時間	数内はハクリ操作をしても音声発話をおこないませ	
	ん。連続してハクリ操作をした際の発話回数を抑えた	
	いときに利用します。0秒~20秒の間で設定します。	

### システム管理

メニュー	詳細	初期値
フォーマットファイル	内部共有ストレージのフォーマットファイルが変更さ	オン
自動更新	れた場合の動作を設定します。	
	オン	
	e-Labe Printの画面が切り替わるタイミング	
	でフォーマットファイルを自動更新します。	
	オフ	
	マークを表示します。更新マークをタップす	
	るとフォーマットファイルを更新します。	
設定情報の自動インポ	内部共有ストレージの[SATO]> [Settings]フォルダに	オフ
- <b>ト</b>	[eLabePrint.xml] (設定情報ファイル) がある場合のイ	
	ンポート動作を設定します。	
	オン	
	e-Labe Printの画面が切り替わるタイミング	
	で設定情報をインポートし更新します。	
	オフ	
	自動インポートは行いません。	
設定情報のインポート	内部共有ストレージの[SATO]> [Settings]フォルダに	_
	ある[eLabePrint.xml] (設定情報ファイル) をインポー	
	トします。一部の設定情報のみ記載された差分ファイ	
	ルも取り込み可能です。	
設定情報のエクスポー	設定情報を内部共有ストレージの[SATO]>[Settings]	_
۲- ۲-	フォルダの[eLabePrint.xml] にエクスポートします。	
	※ただし、各種 ID・パスワードはエクスポートされま	
	<u>せん。</u>	
管理者パスワード	設定メニューを表示するためのパスワードを設定しま	_
	す。	
	※設定情報にはエクスポートされません	
スタート画面設定	FX3-LX 起動と合わせて自動で e-Labe Print も起動す	オフ
	るかどうかを設定します。	
- インテントを入力	自動起動時に表示させる画面を指定します。	_
	[ショートカット生成モード]を有効にして、表示させた	

	い画面のインテントをコピーしてください。	
	未入力の場合はアイテム選択画面が開きます。	
ショートカット生成モ	ショートカット生成モードを使用するか設定します。	オフ
<b>ー</b> ド	オン	
	ショートカット生成モードを有効にします。	
	e-Labe Print の各画面にインテントを取得す	
	るための三点アイコンを表示します。アイコ	
	ンをタップするとインテント URI をクリップ	
	ボードにコピーします。	
	オフ	
	ショートカット生成モードを無効にします。	
メニューカスタマイズ	e-Labe Print のメニュー項目を編集します。オフにした	に項目はメニューに表
	示されません。	
	ナンバー発行	オン
	グループ発行	オン
	キーワード発行	オン
	バーコード発行	オン
	履歴発行	オン
	データ更新	オン
	※[外部ストレージ連携管理]の[外部ストレージ連携]	
	の設定と連動します。データ更新は行うがメニューに	
	表示させない場合、この項目をオフにしてください。	
	マスター編集	オフ
	発行履歴表示	オフ
配信表示フィルターを	e-Labe Designer の「配信開始日/終了日」や「配信先	オン
使用	指定」の機能を使用するか設定します。	
日付加算の上限下限チ	日付加算値の上限下限チェックをおこなうか設定しま	オン
エック	す。	
基準日付変更の上限下	基準日付の変更時、上限下限チェックをおこなうか設	オン
限チェック	定します。	
ログ出カレベルの指定	動作ログの出力方法を設定します。	簡易ログ取得
	簡易ログ取得	
	Android のログ機能を使ってログを出力しま	
	す。電源 OFF や時間経過によりログが削除さ	
	れる場合があります。	

	長期ログ取得	
	ログを内部データベースに出力します。	
	電源 OFF 後も保持され、最大 7 日間分のログ	
	を保存します。	
ログ表示	動作ログの表示、エクスポートをおこないます。	-
出力先設定	(本設定は変更しないでください)	
プロキシ設定	インターネット接続時のプロキシ設定をおこないます。	
	プロキシを使用する	オフ
	プロキシ設定を使用します。	
	- アドレス	_
	プロキシサーバのアドレスを入力します。	
	- ポート	-
	ポート番号を入力します。	
	- ユーザ認証を使用する	オフ
	プロキシ使用時にユーザ認証が必要な場合に	
	選択します。	
	- ユーザ名	_
	ユーザ認証のユーザ名を入力します。	
	※設定情報にはエクスポートされません	
	- パスワード	-
	ユーザ認証のパスワードを入力します。	
	※設定情報にはエクスポートされません	
FI212T 形式で FTP ダ	FTP サーバより FI212T 形式のテキストデータを e-	オフ
ウンロードを実行	Labe 用に変換してダウンロードするかを設定します。	
- FI212T データ連携	FI212T 形式のデータをインポートする PRO 形式のフ	_
フォーマット名	ォーマットファイル名(拡張子除く)を入力します。	
	例)TEST.pefmtz の場合、「TEST」と入力	
最大桁数以上の値を切	発行時に入力した値が最大桁をオーバーした場合エラ	オフ
り捨てて更新	ーとせずに最大桁数以上の値を除いてデータを確定す	
	るかどうかを設定します。(FI212T 互換)	

[バックアップと復元]		
バックアップ世代数の	「USB ストレージにバックアップ」および「データ更	3
設定	新時のバックアップデータアップロード」で、保管でき	
	るバックアップフォルダの世代数を設定します。	

e-Labe Print の設定メニュー

USB ストレージにバッ	USB ストレージに e-Labe Print のデータをバックア	-
クアップ	ップします。	
USB ストレージから復	USB ストレージから e-Labe Print のデータを復元し	-
元	ます。	
	FormatFiles、Settings、LocalTables を復元可能です。	

### 外部ストレージ連携管理

メニュー	詳細	初期値
外部ストレージ連携	SATO App Storage などの外部ストレージとのデータ	オン
	連携をおこなうかどうかを設定します。	
	オン	
	メニューに[データ更新]を表示します。	
	オフ	
	メニューに[データ更新]を表示しません。	
ストレージ選択	接続するストレージを選択します。	USB ストレージ
	SAS (SATO App Storage)	
	(株)サトーが提供するクラウドストレージサ	
	ービスに接続します。	
	WebDAV (HTTP)	
	WebDAV 有効の HTTP サーバに接続します。	
	FTP	
	FTP サーバに接続します。	
	USB ストレージ	
	USB メモリなどの USB 機器に接続します。	
- 接続設定	本体設定値を参照	オン
(SATO App Storage	SATO App Storage 接続情報の参照先を設定します。	
選択時)	オン	
	SatoSettings の接続情報を使用します。	
	オフ	
	e-Labe Print の接続情報を使用します。	
	アドレス	https://sato-app-
	(通常は変更しません)	storage.com/
	会社 ID	-
	会社 ID を入力します。	
	ログイン ID	-
	ログイン ID を入力します。	
	※設定情報にはエクスポートされません	
	パスワード	-
	ログインパスワードを入力します。	
	※設定情報にはエクスポートされません	

	詳細設定	_
	- フォルダー名	
	フォルダー名を入力します。	
		オフ
	-SAS 同期トリガー互換	
	同期トリガー設定で「指定タイミング」機能	
	を利用する場合にオンにします。	
		10秒
	-Socket タイムアウト	1012
	サーバと诵信時のタイムアウトを10~	
	120秒の間で指定します。	
	接続テスト	_
	接続テストをおこないます。	
	アドレス	
(WebDAV 選択時)	サーバのアドレスを入力します。	
	フーザ名	_
	ログインフーザ名を入力します。	
	※設定情報にはエクスポートされません	
	※設定情報にはエクスポート☆わません	
	接続テスト	
	接続テストをおこないます。	
	アドレス	_
(FTP 選択時)	サーバのアドレスを入力します。	
	フーザ名	_
	※設定情報にはエクスポートされません	
	パスワード	_
	ログインパスワードを入力します。	
	※設定情報にはエクスポートされません	
	転送モード	パッシブモード
	│ │ FTP サーバ接続時の転送モードを設定します。	
	アクティブモード	
	アクティブモードを使用します。	

	パッシブモード	
	パッシブモードを使用します。	
	接続テスト	_
	接続テストをおこないます。	
[連携方式]	L	
- 同期トリガー	データ更新をおこなうタイミングを設定します。[USB	ストレージ]選択時は
	設定できません。	
	電源起動時	オン
	FX3-LX 起動時に自動でデータ更新をおこないます。	
	毎回	
	電源起動時必ずデータ更新をおこないます。	
	1日1回	
	電源起動時のデータ更新を1日1回までとし	
	ます。FX3-LX Plus をご利用の場合はこちら	
	を選択してください。ダウンロードデータの	
	有無に関わらず、日付が変わるまでは電源起	
	動時のデータ更新は実行されません。	
	指定タイミング	オフ
	※SATO App Storage 選択時はデフォルトでは表示さ	
	れません。利用するには「SAS 接続設定」内の「-SAS	
	同期トリガー互換」をオンにしてください。	
	指定時刻	
	指定した時刻にデータ更新をおこないます。	
	指定間隔	
	指定した間隔でデータ更新をおこないます。	
- 指定タイミング	[同期トリガー]で[指定タイミング]をオンにした場合	-
	に有効になります。	
	[指定時刻]選択時	
	0:00~23:59 から設定します。	
	[指定間隔]選択時	
	1 時間~24 時間から設定します。	
- 同期失敗時の動作	データ更新失敗時、発行操作を許可するかどうかを設	発行許可
	定します。	
	発行許可	
	発行操作を許可します。データ更新失敗時、画	

	面に[閉じる]ボタンを表示し、発行メニューに	
	遷移可能とします。	
	発行禁止	
	発行操作を許可しません。データ更新失敗時、	
	[再実行]または[設定]メニューへの遷移のみ	
	可能とします。	
- 同期リトライ回数	データ更新失敗時に自動でリトライする回数を 0~10	0回
	回の間で指定します。	
- 更新後マスター編集	データ更新時、フォーマット別マスター編集ファイル	オフ
ファイルを削除	をすべて削除するかを設定します。	
	※フォーマットファイルの更新がない(ダウンロード	
	をスキップした)場合は削除しません	
	※フォーマットファイルを複数使用時は、いずれかの	
	フォーマットファイルの更新が行われるとすべてのマ	
	スター編集ファイルを削除します(更新があったフォ	
	ーマットのみ削除することはできません)	
- 同期完了通知	データ更新成功時、完了通知ファイルをサーバにアッ	オフ
	プロードするかどうかを設定します。	
- 完了通知ファイル名	完了通知ファイル名の先頭に付加する値を選択しま	端末 No.を付加
	す。[同期完了通知] がオンの場合のみ設定できます。	
	端末 No.を付加	
	[マスター編集]の[端末 No.]をファイル名の	
	先頭に付加します。	
	店名テーブル(0 番)の店名情報を付加	
	[マスター編集]の[店名テーブル(0 番)]―[店	
	名]をファイル名の先頭に付加します。	
連携対象データ	データ更新の対象データを選択します。	
	[ダウンロード]	
	フォーマットファイル	オン
	設定情報ファイル	オン
	[アップロード]	
	発行履歴ファイル	オフ
	発行履歴データ(SAS データベース) ※[SATO App	オフ
	Storage]選択時のみ	

※SATO App Storageの契約内容の確認が必要になり	
ますので、ご利用時は販売店までご相談ください。	
ログファイル	オフ
[バックアップデータアップロード]	
マスター編集ファイル	オフ
設定情報ファイル	オフ

### 周辺機器接続設定

メニュー	詳細	初期値
Bluetooth 機器に接続	Bluetooth 機器連携を使用するか設定します。	オン
Bluetooth 機器を選択	Bluetooth 機器の検索・ペアリングと、接続先の選択を	_
	おこないます。	
[接続]		
バックグラウンド接続	e-Labe Print がバックグラウンドに遷移時、Bluetooth	オン
を許可	接続を維持するかどうかを設定します。	
	オン	
	Bluetooth 接続を維持します。	
	オフ	
	Bluetooth 接続を切断します。	
データ受信時に即時発	発行画面で Bluetooth 機器からデータ受信後、即時発	オン
行	行をおこなうかどうかを設定します。	
データ入力フィールド	Bluetooth 機器からのデータ受信用に設定した入力項	オフ
を表示	目を発行画面に表示するかどうかを設定します。	
- フィールド名を変更	Bluetooth 機器からのデータを入力する項目名を入力	(INP-DEV)
	します。レイアウトの項目名と紐づけます。	
[受信設定] <mark>※設定変更</mark>	時は受信テストを必ず行ってください。	
文字セット	受信したデータの文字コードを選択します。	UTF-8
スタートコード(16 進	データ受信を開始する文字列を16進数で指定します。	-
数)	例)[STX] ⇒ 「02」	
ストップコード(16 進	データ受信を終了する文字列を16進数で指定します。	-
数)	例)[ETX] ⇒ 「03」	
受信タイムアウト(ミ	データ受信を開始してから終了するまでの時間を 0~	300
リ秒)	60000 ミリ秒の間で設定します。	

### 発行履歴設定

メニュー	詳細	初期値
発行履歴出力設定	発行履歴を記録するか設定します。	使用する
	使用する	
	発行履歴を内部データベースに記録します。	
	Ver.1.6.3 より以前のファイル形式で記録す	
	る場合は[互換形式]にチェックします。	
	使用しない	
	発行履歴を記録しません。	
- 1 枚ずつ明細を出力	ラベル1枚単位で発行履歴を記録するか設定します。	オフ
	[操作設定]の[枚数カウント表示]がオンの場合に有効	
	です。	
	オン	
	ラベル1枚単位で記録します。	
	オフ	
	発行指示単位で記録します。	
- 発行履歴の保存期間	発行履歴を保持する期間を設定します。[互換形式]では	7日
	無効です。	
- 発行履歴のエクスポ	発行履歴を内部共有ストレージのテキストファイルに	-
- <b>ト</b>	エクスポートします。[互換形式]では無効です。	
発行履歴フォルダをク	内部共有ストレージの発行履歴フォルダ内のファイル	-
リア	をすべて削除します。	
発行履歴データベース	e-Labe Print 内部で記録している発行履歴を削除しま	-
をクリア	す。	
発行完了日	発行履歴表示画面に表示するかどうかを設定します。	オフ
発行完了時刻	※発行完了日、発行完了時刻、発行完了枚数を表示する	
発行完了枚数	には[操作設定]の[枚数カウント表示]をオンにする必	
	要があります(発行履歴に記録されません)。	
発行履歴表示	発行履歴表示画面に遷移します。	-

# スペック表

項目		設定値
レイアウト数		基本レイアウト: 5,000 件
	SIDRIA	発行レイアウト: 5,000 件
	PRO 形式	レイアウト : 500 件
呼出しデータ	件数	STD 形式:5,000 件
		PRO 形式: 9,999 件
	呼出しデータ名桁数	32 桁 (全角 16 桁)
	検索用呼出し名桁数	100 桁(全半角入力可)
	登録番号	4 桁(固定)数字
入力フィールド 最大桁	数	1,000 桁
フィールド数 (1 レイア	'ウトあたり)	200 個
漢字テーブル	テーブル数	最大 99 テーブル
	1 テーブル登録件数	1,000 件
	入力桁数	1,000 桁
	選択方法	リスト選択/番号入力
	登録番号	4 桁(固定)数字
グラフィックテーブル	登録件数	99 件
	選択方法	アイコン選択/番号入力/リスト選択
	登録番号	4 桁(固定)数字
店名テーブル	登録件数	5,000 件
	選択方法	リスト選択/番号入力
	登録番号	4~6 桁(設定可)数字
端末 No.		4~6 桁(変更可)数字
容器マスタテーブル	登録件数	99 件(LR4NX-FOOD のみ)
	登録番号	4 桁(固定)数字
参照・結合で結合可能な項目数		最大 30 項目
PRO 形式のレイアウト最大件数		500 件
フォーマット一元管理(データ連携先)		SATO App Storage / WebDAV / FTP /
		USB ストレージ
フォーマットファイル出	力先	デバイスとドライブ/SATO App
		Storage/FTP サーバ/

		USB 経由で FX3 またはタブレットに直接
		書き込み
呼出しテーブルデータファイルサイズ制限		最大 10MB
発行履歴	出力項目数	99 項目
	1項目の最大桁数	1,000 桁
	合計桁数	5,000 桁
	データ保存形式	内部データベース
		※互換モードはテキストファイル
	保存期間設定	1日~365日
		※互換モードは対象外
	本体での履歴データ表示可能 ※互換形式の履歴データは対象外	

# トラブルシューティング

# コピーしたフォーマットファイルが、 🣃 (フォーマットファイル選択) をタップしても出 てこない。

#### フォーマットファイルを正しいフォルダにコピーしましたか?

 フォーマットファイルは必ず「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダに コピーしてください。他のフォルダにコピーすると、e-Labe Print で読み込めません。

#### プロジェクトファイルをコピーしていませんか?

プロジェクトファイル(「P」マークのアイコン)は e-Labe Print で読み込めません。フォーマットファイルは「F」マークのアイコンで拡張子「.sefmtz」または「.pefmtz」のファイルです。



### ラベルが発行されない。

FX3-LX の LED インジケータが青に点灯していますか?

・ 消灯している。

FX3-LX はオフライン状態です。オンラインに切り替わるまでラベルは発行されません。Sato コ ントロールバーで [オンライン] をタップして、オンライン状態に切替えます。詳しくは、FX3-LX の取扱説明書をご覧ください。

・ 赤に点灯している。

FX3-LX でエラーが発生しています。画面の指示に従って、エラーを解除してください。詳しくは、FX3-LX の取扱説明書をご覧ください。

## [SATO Control 条件表示][SATO Control のショートカット表示]の設定をオンにすると 「SATO Control が表示設定に対応しているバージョンではありません。」とエラーになる。



#### SATO Control のバージョンは Ver.1.1.0 以上ですか?

SATO Control が非対応のバージョンの場合エラーチェックが掛かります。 この機能を使用するには SATO Control のバージョンアップが必要です。販売店にご連絡 ください。

### [SATO Control 表示条件]をオンにしているにも関わらず、指定した枚数に満たなくても SATO Control が表示される。

#### SATO Control の設定は[マニュアル]になっていますか?

SATO Control の表示条件機能は SATO Control 側の設定が[マニュアル]である必要があります。[常に表示]や[イベント表示]では正しく動作しません。

FX3-LX のホームボタンを押し、[ SATO Settings]>[ Sato Control]>[表示]を タップし、設定を確認してください。

### データ更新時にエラーが発生する。

#### エラー①:サーバーの接続リクエストは拒否されました。

・ ログイン ID やパスワードに誤りはありませんか?接続設定を確認してください。

#### エラー②:ネットワークに接続されていません。

- IP アドレスやプロキシ設定などネットワークの設定は正しいですか?
- ・ ネットワークケーブルは正しく接続されていますか?